

令和 6 年における神奈川県の子殺者の状況

令和 7 年 7 月 がん・疾病対策課作成
(警察庁の子殺統計を基に作成)

1	子殺者数・子殺死亡率の推移	1
2	令和 6 年子殺者の状況	2
(1)	男女別の状況	2
(2)	年齢階級別の状況	3
(3)	職業別の状況	8
(4)	原因・動機別の状況	10
(5)	子殺未遂歴の状況	12
3	詳細データ	14
(1)	月別の状況	14
(2)	男女別・年齢階級別・月別子殺者数の状況	16
(3)	曜日別の状況	18
(4)	年齢階級別子殺死亡率の状況	19
(5)	男女別・年齢階級別・子殺の手段別の状況	20
(6)	男女別・年齢階級別・子殺の場所別の状況	21
(7)	職業別・年齢階級別の状況	22
(8)	年齢階級別、原因・動機別の状況	24
(9)	職業別、原因・動機別の状況	26
(10)	原因・動機別内訳	28
(11)	年齢階級別、子殺未遂歴の状況	29
(12)	同居人の状況	29

1 自殺者数・自殺死亡率の推移

本県の自殺者数は、平成19年から23年にかけて1,800人台で推移していたが、平成24年以降は減少傾向となった。令和元年は1,076人と平成10年以降で最少となったが、令和2年は1,269人と増加に転じ、令和3年は若干減少したものの、令和4年、令和5年と増加した。令和6年は令和5年より24人減少して1,342人となった。

自殺死亡率は、平成24年以降減少傾向となり、令和元年は11.7と平成9年以降で最少となったが、令和2年は2.0ポイント増加し、13.7となった。令和3年にはわずかに減少したものの、令和4年、令和5年と増加した。令和6年は令和5年より0.3ポイント下がり14.5となった。

図1-1

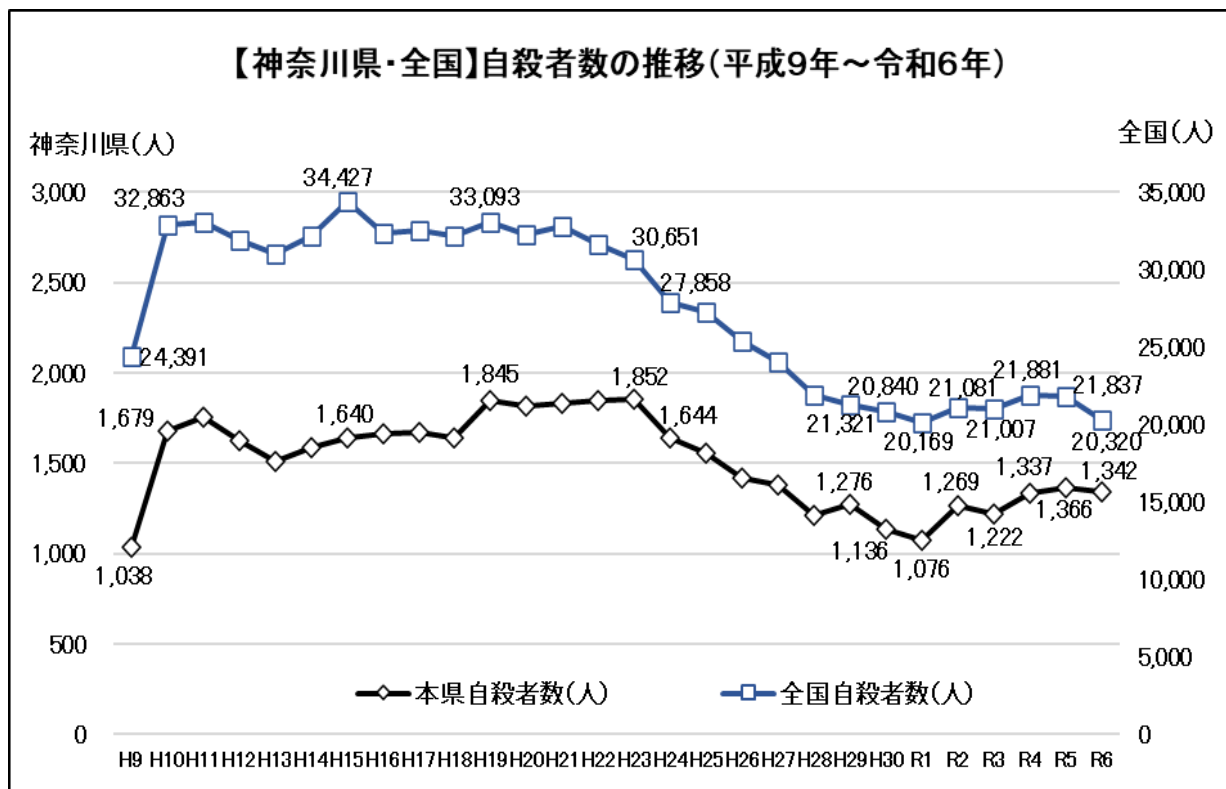
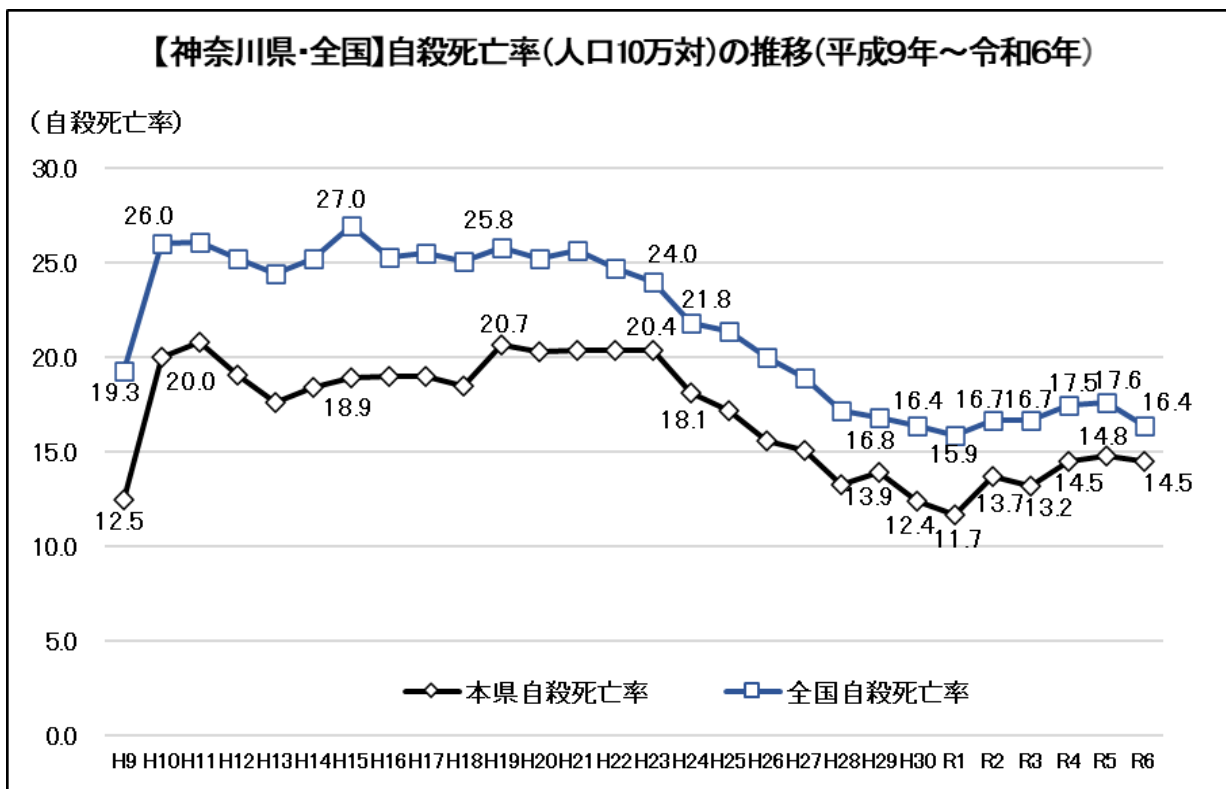


図1-2



2 令和6年自殺者の状況

(1) 男女別の状況

本県の令和6年における男女別自殺者数は、男性は前年より15人減の883人、女性は前年より9人減の459人となっている。男女別自殺者の割合は、男性が約7割、女性が約3割で推移しており、本県は全国と比較すると女性の割合が高い。なお、自殺者数は、全国、本県ともに男女とも減少している。

図2-1

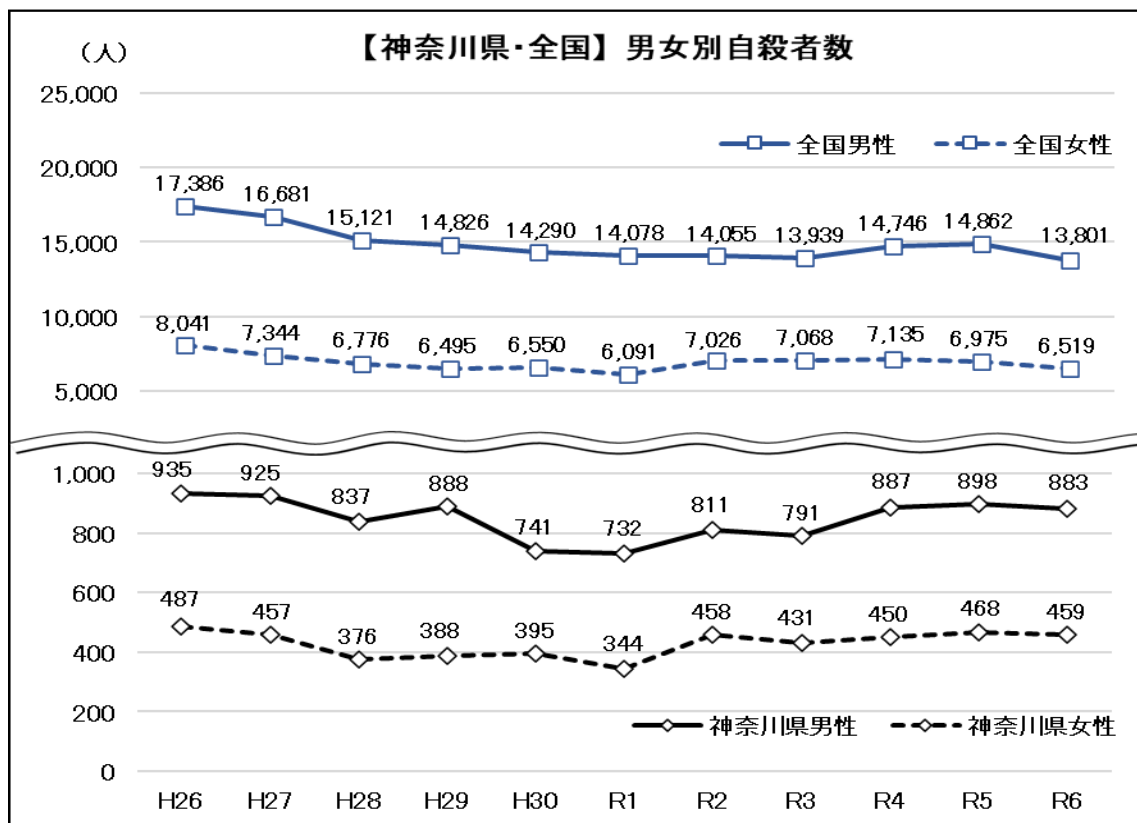
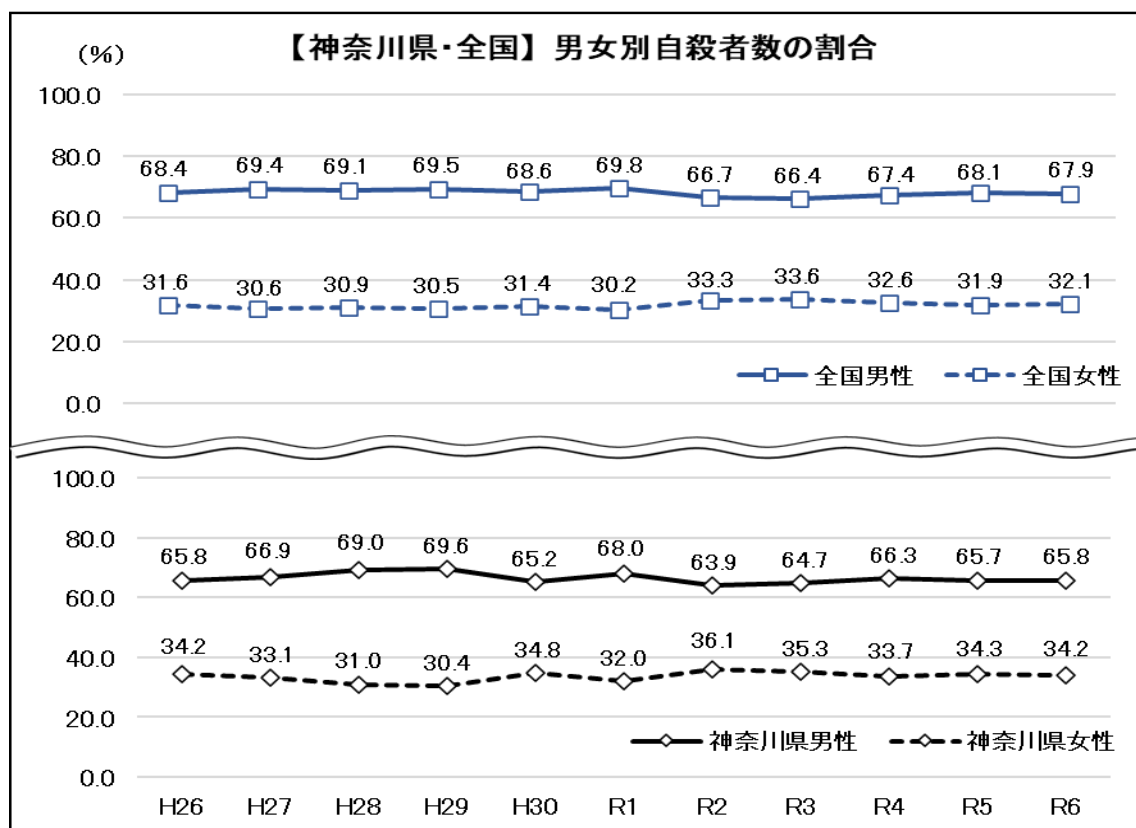


図2-2



(2) 年齢階級別の状況

本県の令和6年における年齢階級別の自殺者割合は、50歳代が最も多く、次いで40歳代、20歳代の順となっている。

年代別の自殺者数の推移では、40歳代から70歳代までの年代で減少したものの、80歳代の自殺者数が増加している。また、20歳未満及び20歳代の子ども・若者世代が増加している。

男女別でみると、20歳未満から40歳代までの自殺者の割合で女性が大きくなり、特に20歳未満では割合の半数を占めている。

なお、全国では、10歳代から20歳代で女性の割合が、70歳代から80歳代で男性の割合がそれぞれ高くなっている。

図2-3

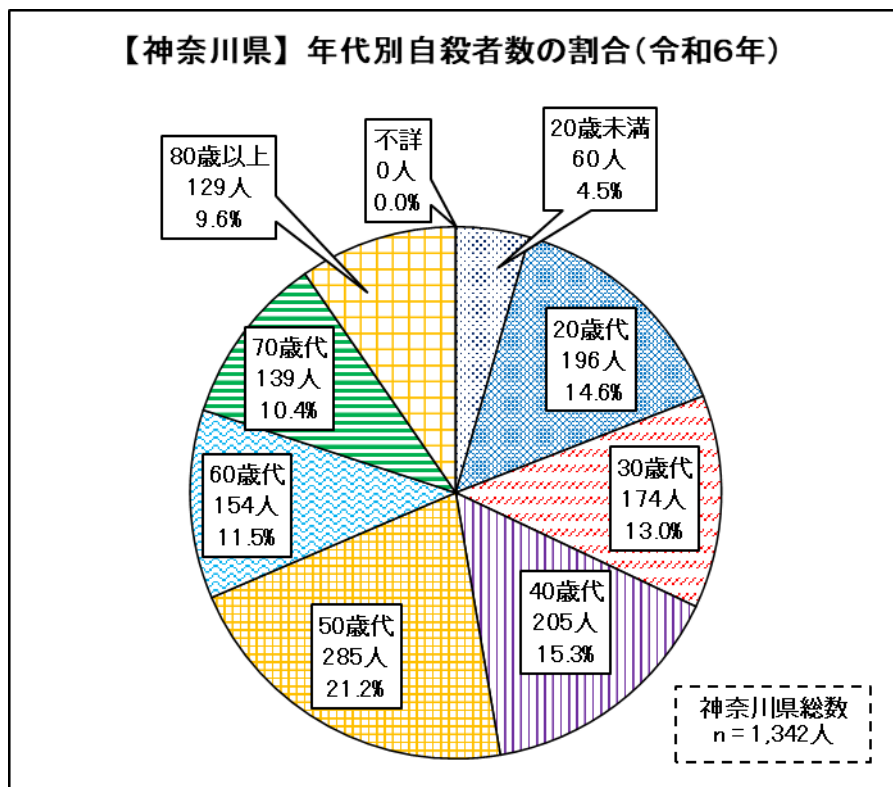


図2-4

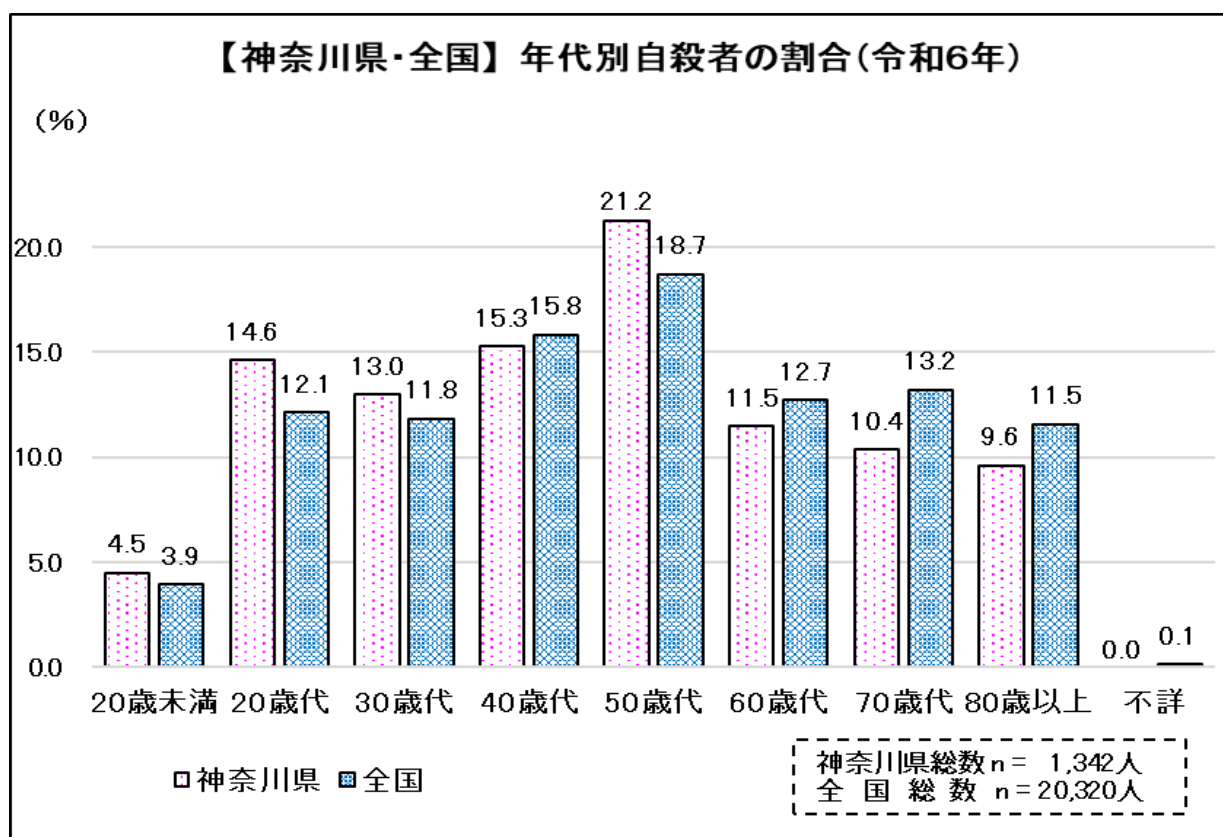


図2—5

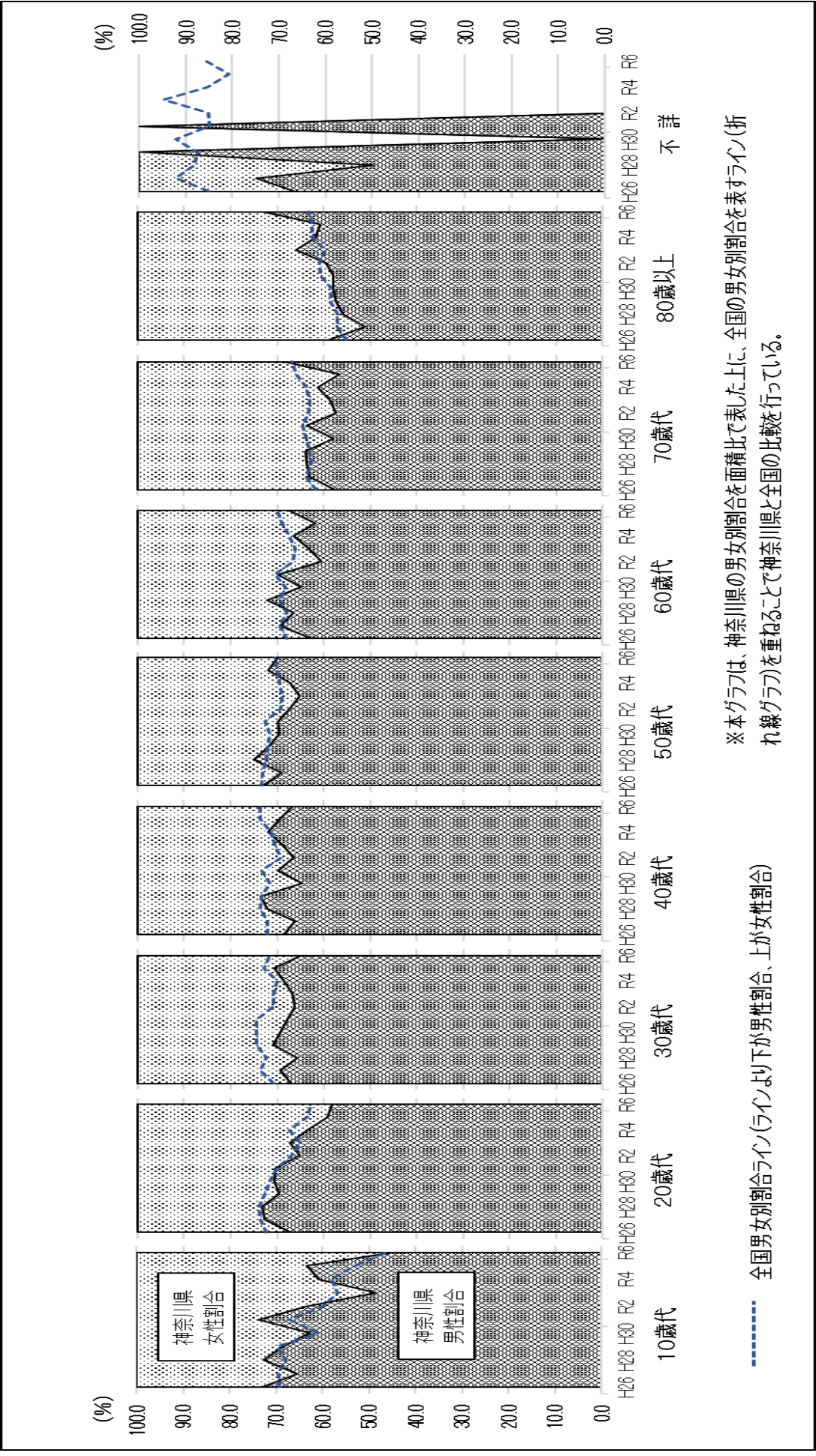
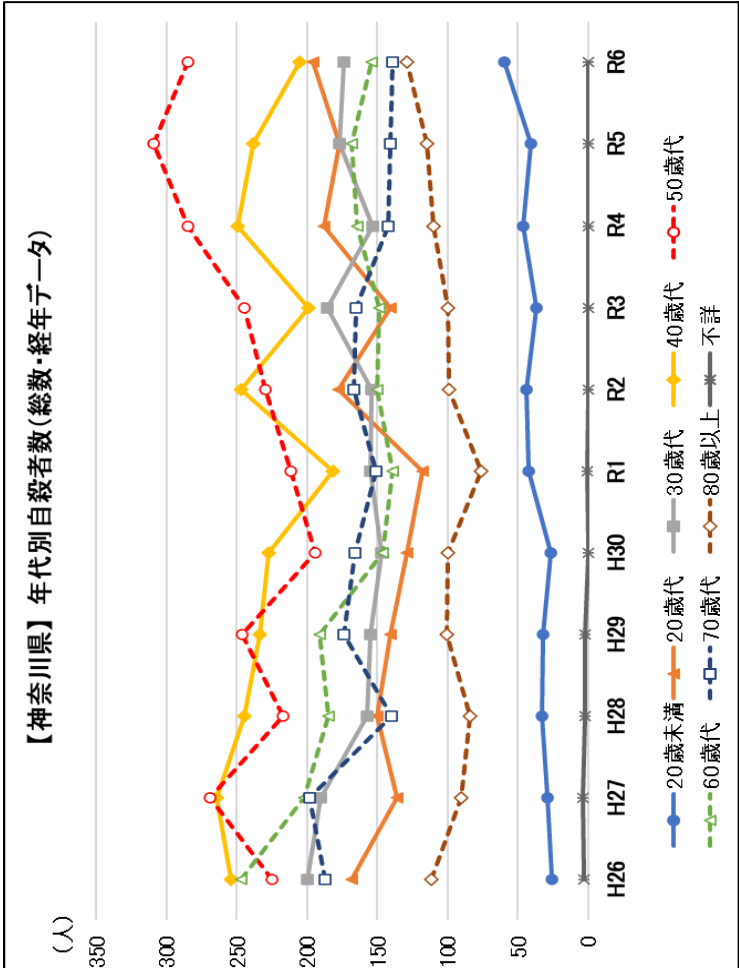


図2-6

表2-1

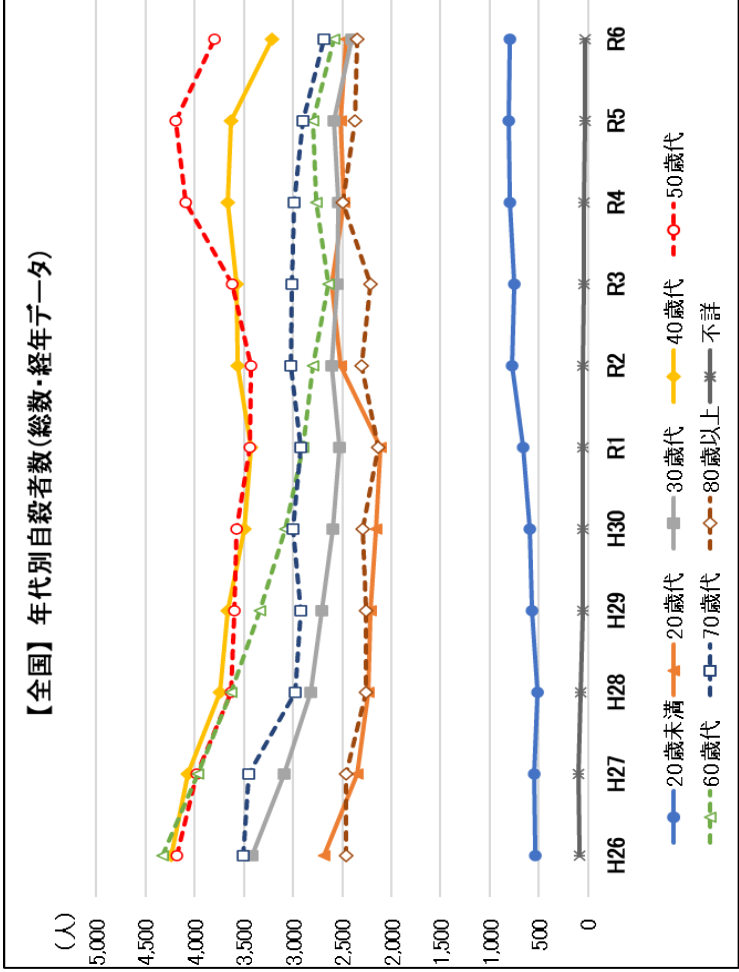


【神奈川県】年代別自殺者数(総数・人)

年代別	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
20歳未満	26	29	33	32	27	42	44	44	37	46	60
20歳代	168	136	150	141	129	118	178	141	188	177	196
30歳代	200	190	157	155	147	155	154	186	153	177	174
40歳代	254	264	245	234	227	182	247	199	249	238	205
50歳代	225	269	217	246	194	212	230	245	285	309	285
60歳代	247	202	185	191	146	139	150	149	164	168	154
70歳代	187	198	140	174	166	151	167	165	142	141	139
80歳以上	112	90	84	101	100	76	99	100	110	115	129
不詳	3	4	2	2	0	1	0	0	0	0	0
総数	1,422	1,382	1,213	1,276	1,136	1,076	1,269	1,222	1,337	1,366	1,342

図2-7

表2-2



【全国】年代別自殺者数(総数・人)

年代別	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
20歳未満	538	554	520	567	599	659	777	750	798	810	800
20歳代	2,684	2,352	2,235	2,213	2,152	2,117	2,521	2,611	2,483	2,521	2,465
30歳代	3,413	3,087	2,824	2,703	2,597	2,526	2,610	2,554	2,545	2,587	2,399
40歳代	4,234	4,069	3,739	3,668	3,498	3,426	3,568	3,575	3,665	3,625	3,214
50歳代	4,181	3,979	3,631	3,593	3,575	3,435	3,425	3,618	4,093	4,194	3,799
60歳代	4,325	3,973	3,626	3,339	3,079	2,902	2,795	2,637	2,765	2,798	2,584
70歳代	3,508	3,451	2,983	2,926	2,998	2,917	3,026	3,009	2,994	2,901	2,685
80歳以上	2,457	2,459	2,262	2,256	2,290	2,134	2,305	2,214	2,490	2,370	2,346
不詳	87	101	77	56	52	53	54	39	48	31	28
総数	25,427	24,025	21,897	21,321	20,840	20,169	21,081	21,007	21,881	21,837	20,320

図2-8

表2-3

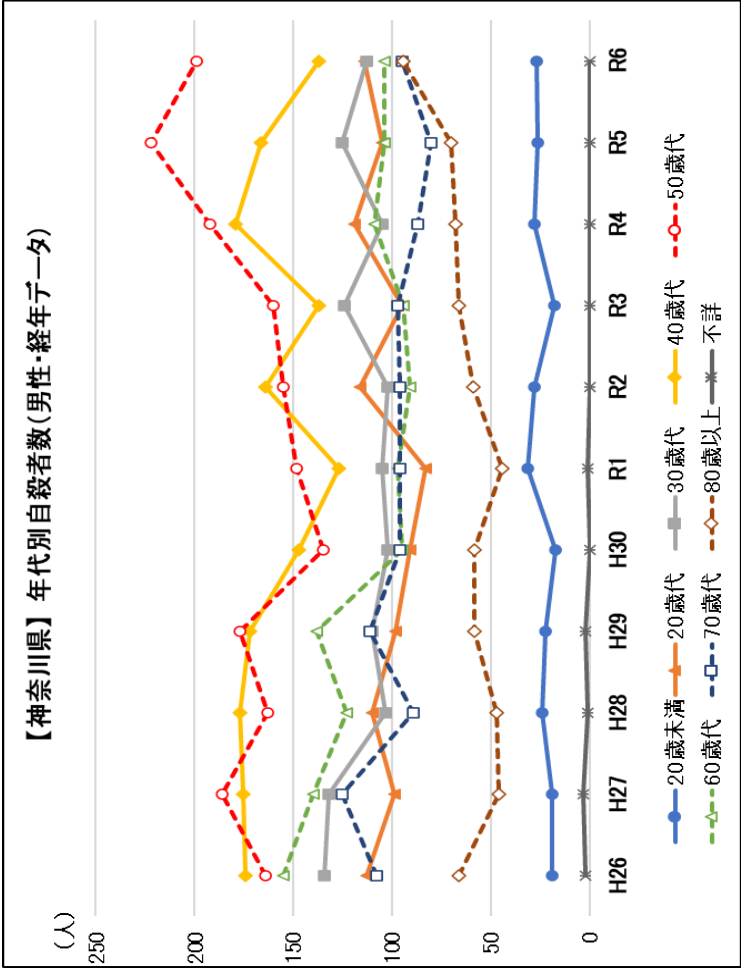
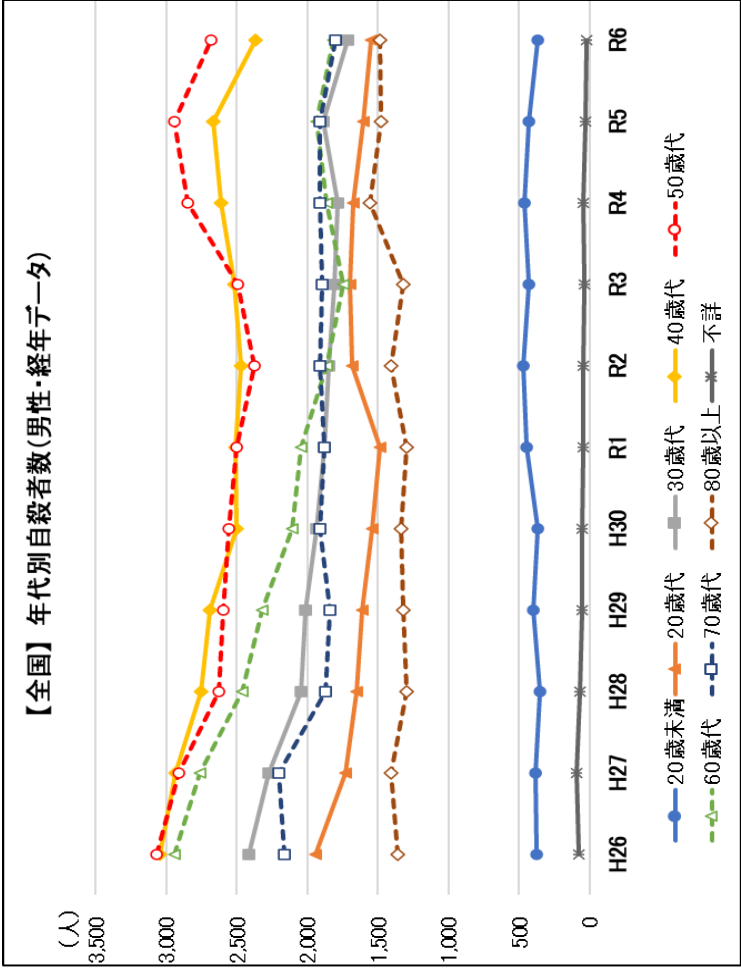


図2-9

表2-4



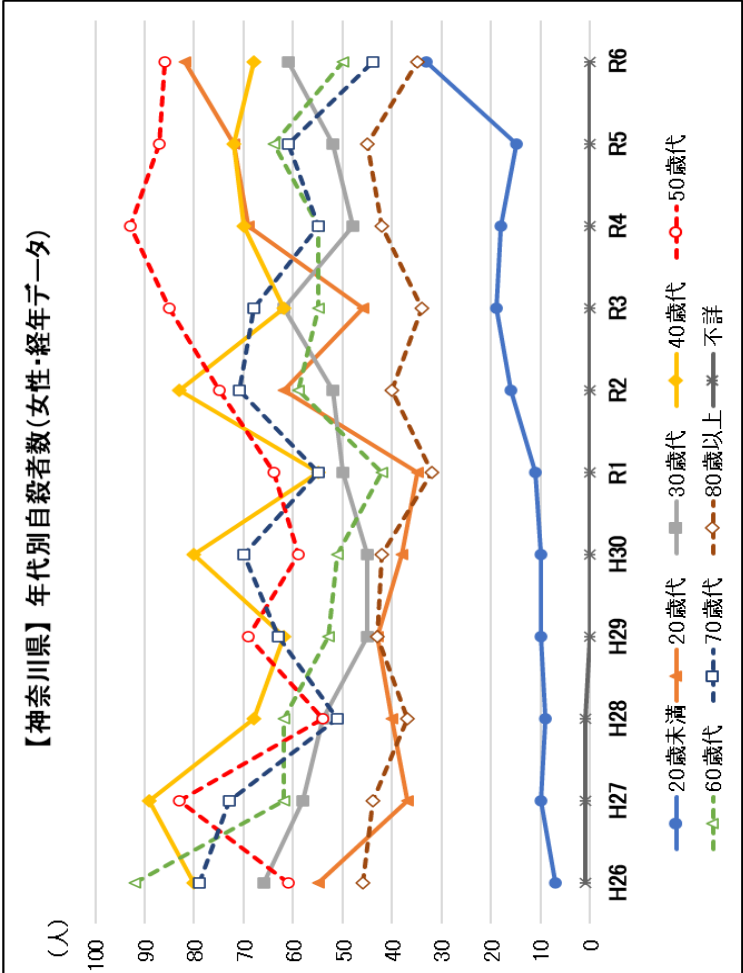
【神奈川県】年代別自殺者数(男性・人)

年代別	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
20歳未満	19	19	24	22	17	31	28	18	28	26	27
20歳代	113	99	110	98	91	83	116	95	119	105	114
30歳代	134	132	103	110	102	105	102	124	105	125	113
40歳代	174	175	177	172	147	127	164	137	179	166	137
50歳代	164	186	163	177	135	148	155	160	192	222	199
60歳代	155	140	123	138	95	97	91	94	109	104	104
70歳代	108	125	89	111	96	96	96	97	87	80	95
80歳以上	66	46	47	58	58	44	59	66	68	70	94
不詳	2	3	1	2	0	1	0	0	0	0	0
総数	935	925	837	888	741	732	811	791	887	898	883

【全国】年代別自殺者数(男性・人)

年代別	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
20歳未満	373	385	354	396	366	443	466	426	464	431	370
20歳代	1,945	1,731	1,652	1,607	1,538	1,483	1,684	1,699	1,672	1,599	1,546
30歳代	2,413	2,272	2,043	2,010	1,930	1,878	1,846	1,810	1,784	1,883	1,717
40歳代	3,047	2,932	2,751	2,691	2,499	2,511	2,466	2,519	2,611	2,665	2,366
50歳代	3,068	2,906	2,628	2,593	2,558	2,497	2,371	2,492	2,848	2,939	2,684
60歳代	2,942	2,759	2,463	2,319	2,103	2,045	1,859	1,741	1,862	1,931	1,812
70歳代	2,165	2,198	1,870	1,841	1,913	1,882	1,912	1,892	1,906	1,910	1,799
80歳以上	1,359	1,405	1,292	1,320	1,335	1,294	1,405	1,323	1,558	1,479	1,483
不詳	74	93	68	49	48	45	46	37	41	25	24
総数	17,366	16,681	15,121	14,826	14,290	14,078	14,055	13,939	14,746	14,862	13,801

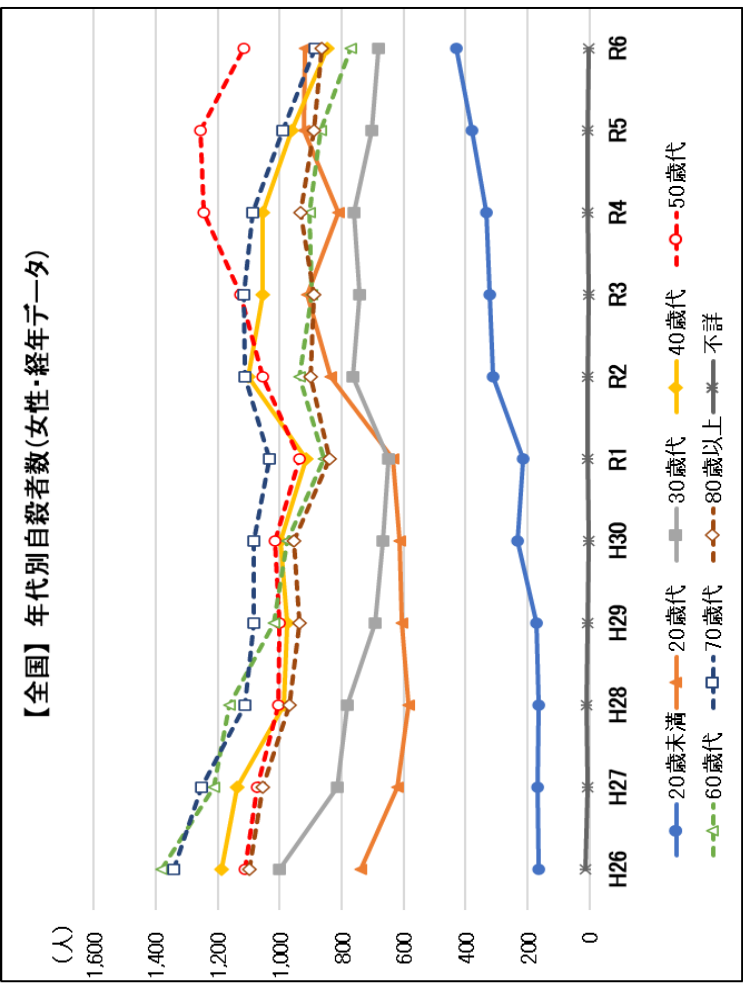
図2-10
表2-5



【神奈川県】年代別自殺者数(女性・人)

年代別	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
20歳未満	7	10	10	9	10	11	16	19	18	15	33
20歳代	55	37	40	43	38	35	62	46	69	72	82
30歳代	66	58	54	45	45	50	52	62	48	52	61
40歳代	80	89	68	62	80	55	83	62	70	72	68
50歳代	61	83	54	69	59	64	75	85	93	87	86
60歳代	92	62	62	53	51	42	59	55	55	64	50
70歳代	79	73	51	63	70	55	71	68	55	61	44
80歳以上	46	44	37	43	42	32	40	34	42	45	35
不詳	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0
総数	487	457	376	388	395	344	458	431	450	468	459

図2-11
表2-6



【全国】年代別自殺者数(女性・人)

年代別	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
20歳未満	165	169	166	171	233	216	311	324	334	379	430
20歳代	739	621	583	606	614	634	837	912	811	922	919
30歳代	1,000	815	781	693	667	648	764	744	761	704	682
40歳代	1,187	1,137	988	977	999	915	1,102	1,056	1,054	960	848
50歳代	1,113	1,073	1,003	1,000	1,017	938	1,054	1,126	1,245	1,255	1,115
60歳代	1,383	1,214	1,163	1,020	976	857	936	896	903	867	772
70歳代	1,343	1,253	1,113	1,085	1,085	1,035	1,114	1,117	1,088	991	886
80歳以上	1,098	1,054	970	936	955	840	900	891	932	891	863
不詳	13	8	9	7	4	8	8	2	7	6	4
総数	8,041	7,344	6,776	6,495	6,550	6,091	7,026	7,068	7,135	6,975	6,519

(3) 職業別の状況

本県の令和6年における職業別の自殺者数は、「学生・生徒」を除く「無職者」が最も多く727人となっており、次いで、「有職者」が507人であった。

無職内訳では、「学生・生徒等」と「年金・雇用保険等生活者」が前年に比べ増えており、「学生・生徒等」については、62人から95人と大きく増加している。

図2-12

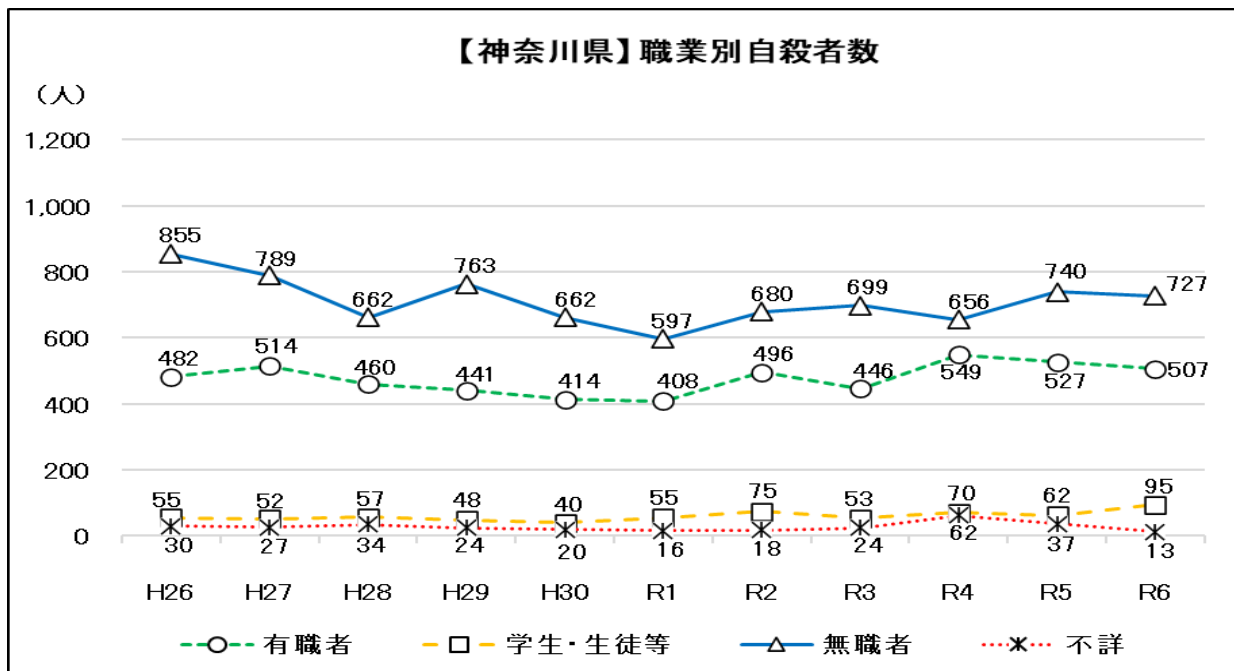
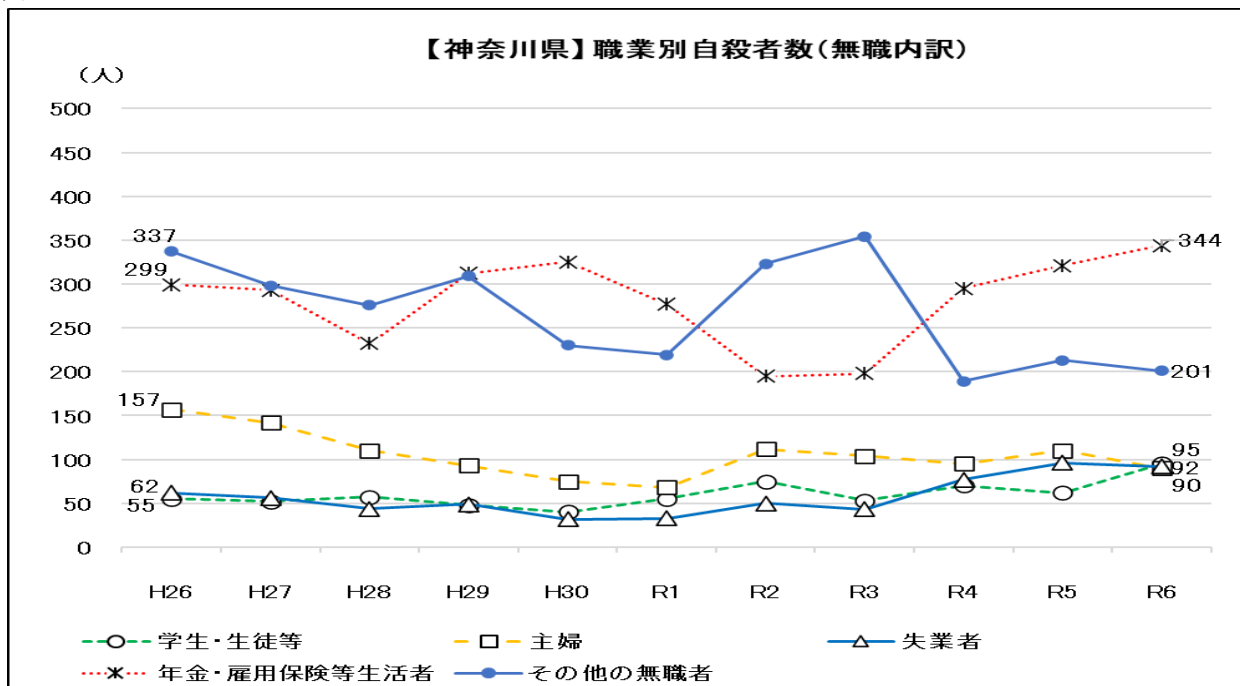


図2-13

表2-7



無職内訳		H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
無職者	学生・生徒等	55	52	57	48	40	55	75	53	70	62	95
	主婦	157	142	110	93	75	68	112	104	95	110	90
	失業者	62	56	44	49	32	33	50	43	77	96	92
	年金・雇用保険等生活者	299	293	232	312	325	277	195	198	295	321	344
	その他の無職者	337	298	276	309	230	219	323	354	189	213	201
	無職者計	855	789	662	763	662	597	680	699	656	740	727
無職計		910	841	719	811	702	652	755	752	726	802	822

図2—14

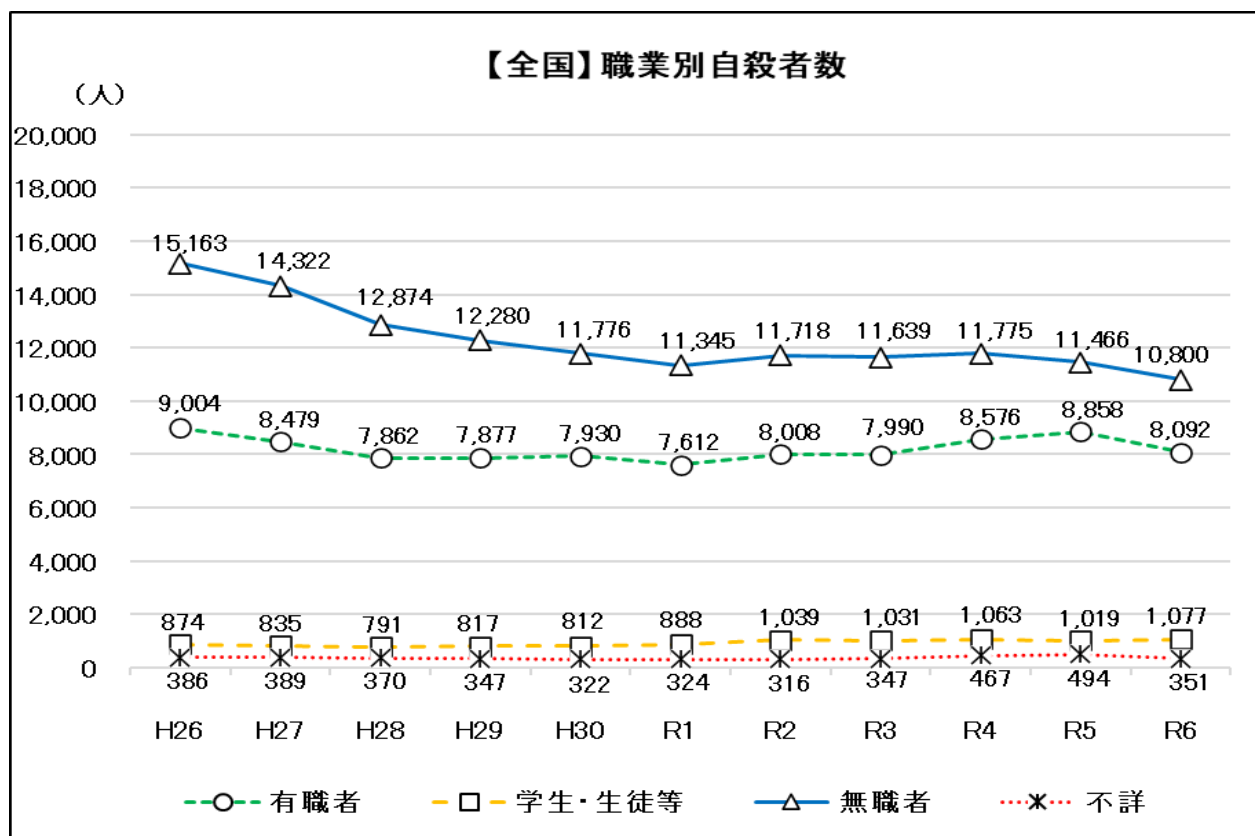
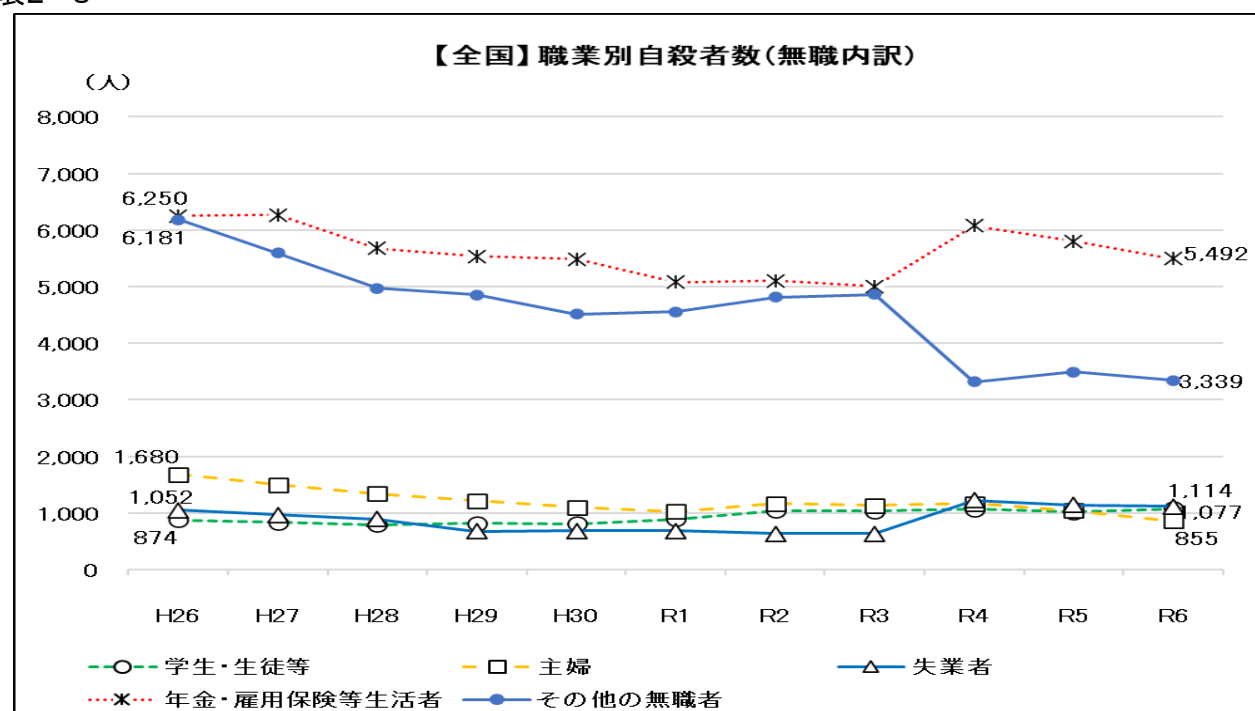


図2—15

表2—8



無職内訳		H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
無職者	学生・生徒等	874	835	791	817	812	888	1,039	1,031	1,063	1,019	1,077
	主婦	1,680	1,498	1,340	1,215	1,095	1,025	1,168	1,136	1,166	1,040	855
	失業者	1,052	962	888	678	682	684	636	636	1,220	1,141	1,114
	年金・雇用保険等生活者	6,250	6,267	5,675	5,534	5,484	5,081	5,101	5,001	6,074	5,797	5,492
	その他の無職者	6,181	5,595	4,971	4,853	4,515	4,555	4,813	4,866	3,315	3,488	3,339
	無職者計	15,163	14,322	12,874	12,280	11,776	11,345	11,718	11,639	11,775	11,466	11,800
無職計		16,037	15,157	13,665	13,097	12,588	12,233	12,757	12,670	12,838	12,485	11,877

(4) 原因・動機別の状況

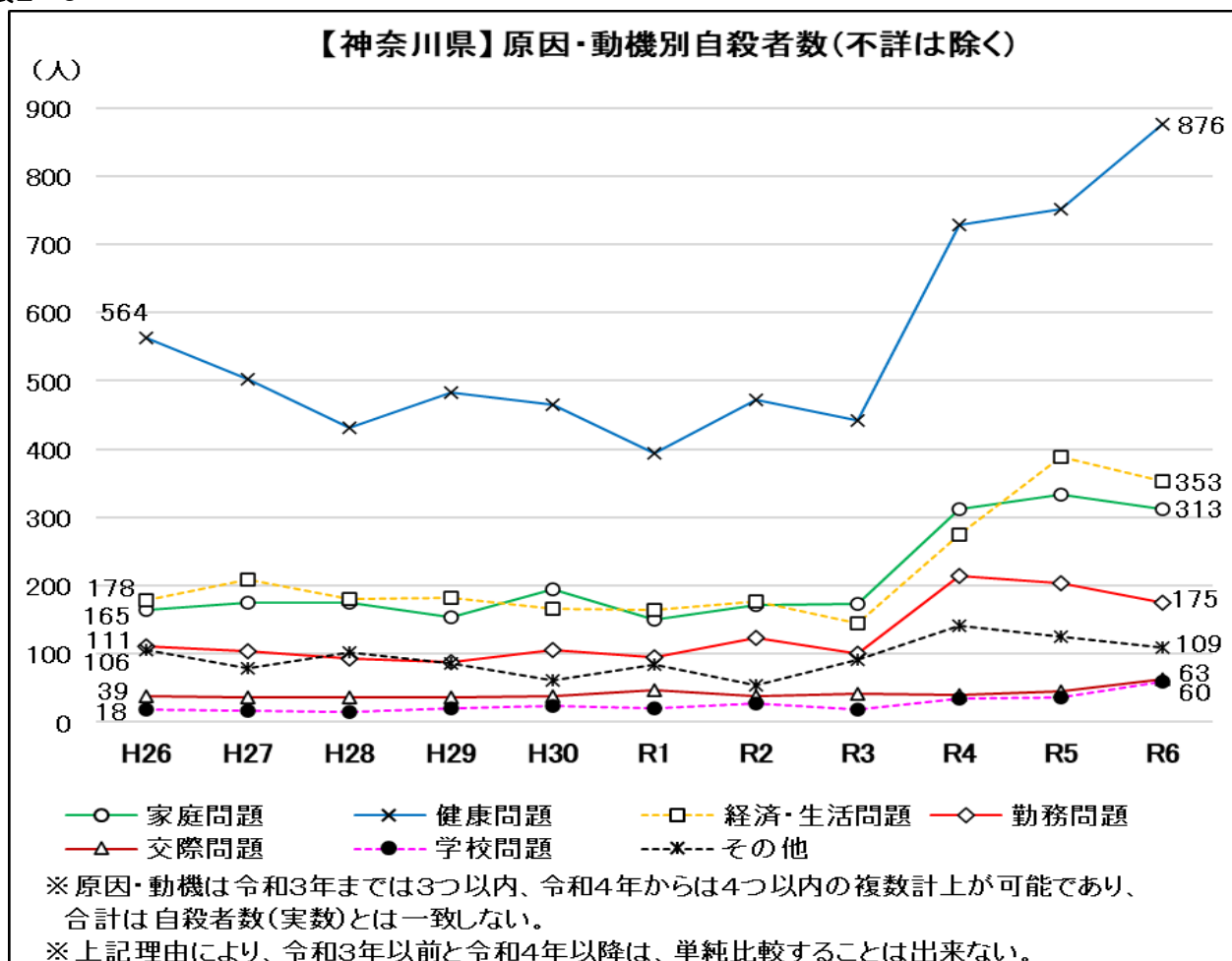
本県の令和6年の自殺者のうち、原因・動機が判明した自殺者は、「健康問題」が876人と最も多く、次いで「経済・生活問題」「家庭問題」「勤務問題」の順となっている。

また、本県の年齢階級別の原因・動機別順位と割合では、「健康問題」が10歳代を除くすべての年齢階級で第1位となっている一方で、10歳代では「学校問題」が第1位となっている。

自殺は多様で複合的な原因・背景があり、様々な要因が絡み合う中で起きているが、10歳代では「その他」、20歳代では「交際問題」と他の年齢階級の順位に見られなかった原因・動機がそれぞれ第3位に入っている。

図2-16

表2-9



原因・動機別内訳	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
家庭問題	165	175	176	154	195	150	171	174	312	333	313
健康問題	564	502	432	483	466	394	472	443	728	752	876
経済・生活問題	178	209	181	183	166	164	177	145	274	388	353
勤務問題	111	104	94	88	106	96	123	101	214	204	175
交際問題	39	36	37	36	38	47	39	42	40	45	63
学校問題	18	17	15	21	24	20	27	18	35	36	60
その他	106	80	103	87	61	84	54	91	142	125	109
総計	1,181	1,123	1,038	1,052	1,056	955	1,063	1,014	1,745	1,883	1,949
自殺者数(実数)	1,422	1,382	1,213	1,276	1,136	1,076	1,269	1,222	1,337	1,366	1,342

3つ以内
原因・動機
→ 4つ以内
原因・動機

表2-10

【神奈川県】令和6年における各年齢階級別の原因・動機別順位(第3位まで)と割合

年 代	第1位		第2位		第3位	
	原 因	割合	原 因	割合	原 因	割合
10歳代	学校問題	51.7%	健康問題	35.0%	その他	20.0%
20歳代	健康問題	50.5%	勤務問題	18.4%	交際問題	16.3%
30歳代	健康問題	52.3%	経済・生活問題	36.8%	家庭問題	24.7%
40歳代	健康問題	61.0%	家庭問題	35.1%	経済・生活問題	27.8%
50歳代	健康問題	59.6%	経済・生活問題	40.0%	家庭問題	27.0%
60歳代	健康問題	84.4%	経済・生活問題	26.0%	家庭問題	22.1%
70歳代	健康問題	89.9%	経済・生活問題	24.5%	家庭問題	20.9%
80歳代以上	健康問題	96.9%	家庭問題	22.5%	経済・生活問題	12.4%
全年代	健康問題	66.0%	経済・生活問題	26.8%	家庭問題	23.8%

※ 不詳は除く。

※ 原因・動機は4つ以内の複数計上可能であり、自殺者の割合は、自殺者数(実数)を母数として、それぞれの原因・動機に該当した人数の割合を算出している。

(5) 自殺未遂歴の状況

本県の令和6年における自殺者のうち自殺未遂歴があった人は、前年より微増し、280人で自殺者に占める割合は20.9%となっている。また、男女別では、男性が132人(14.9%)、女性が148人(32.2%)で女性の方が割合が高い。なお、男女とも自殺未遂歴があった人は増えており、本県では特に女性の自殺未遂歴が全国と比較して高い状況にある。

図2-17

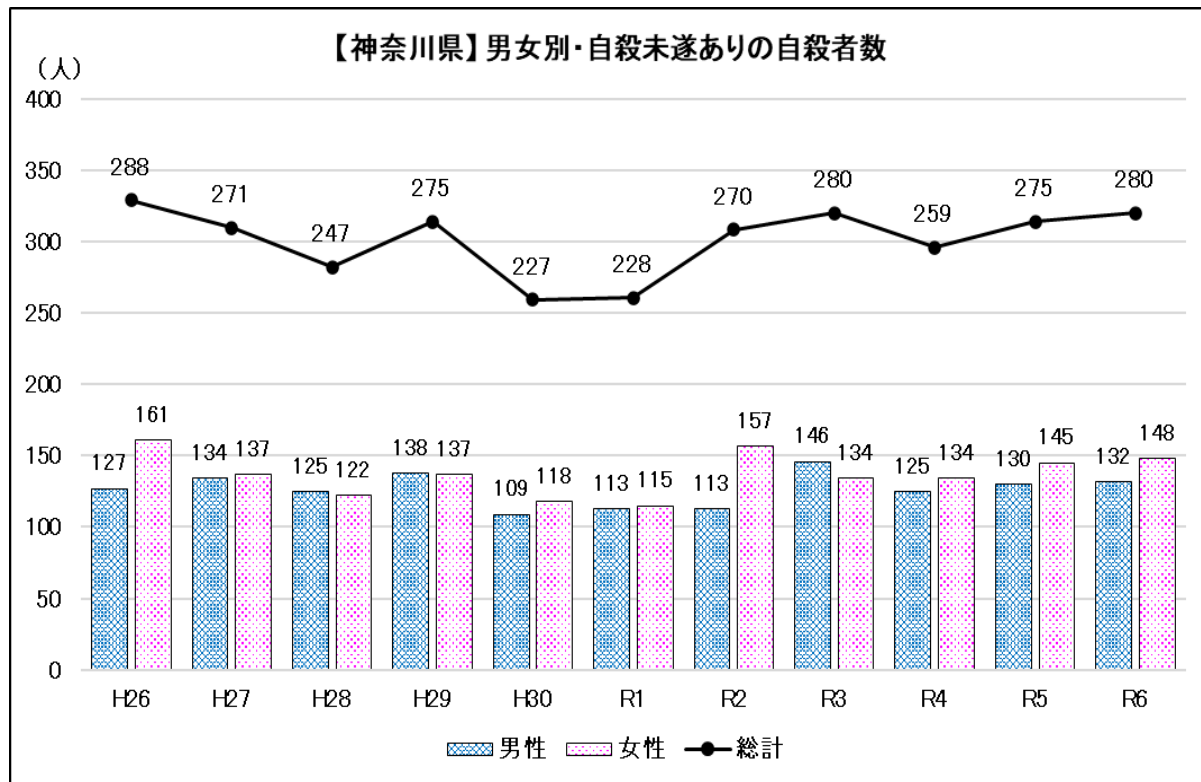


図2-18

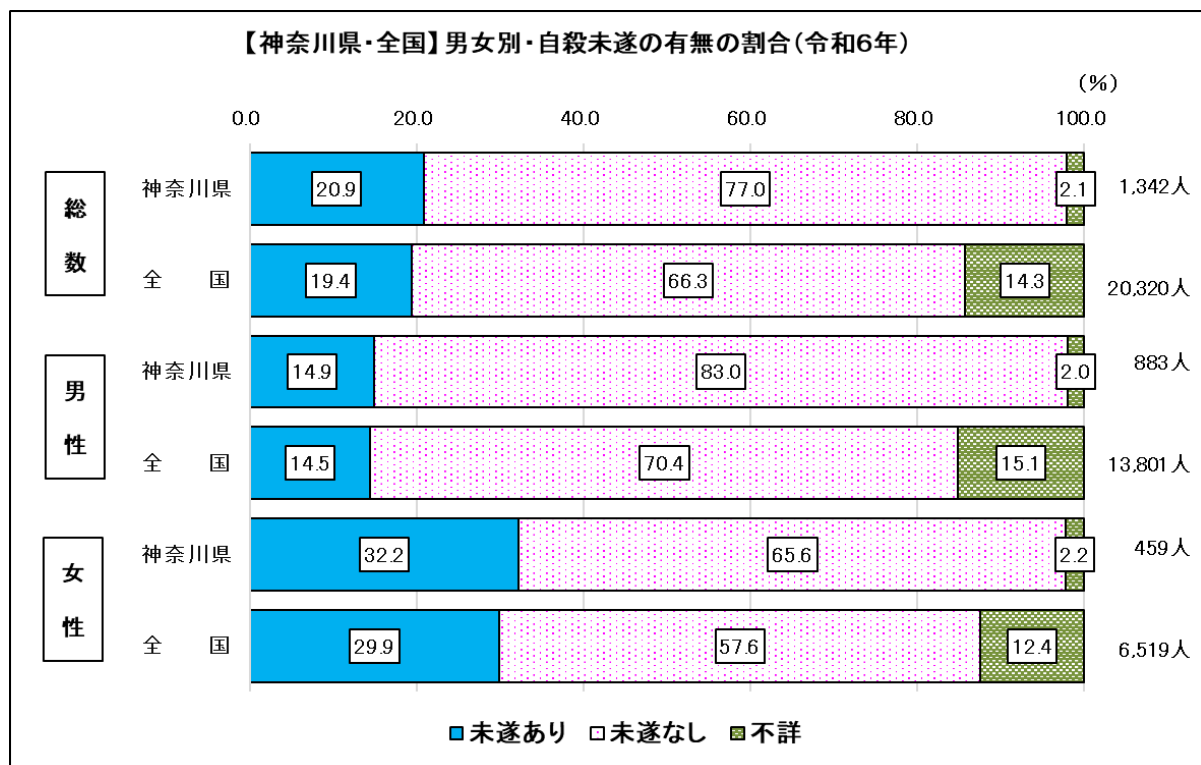
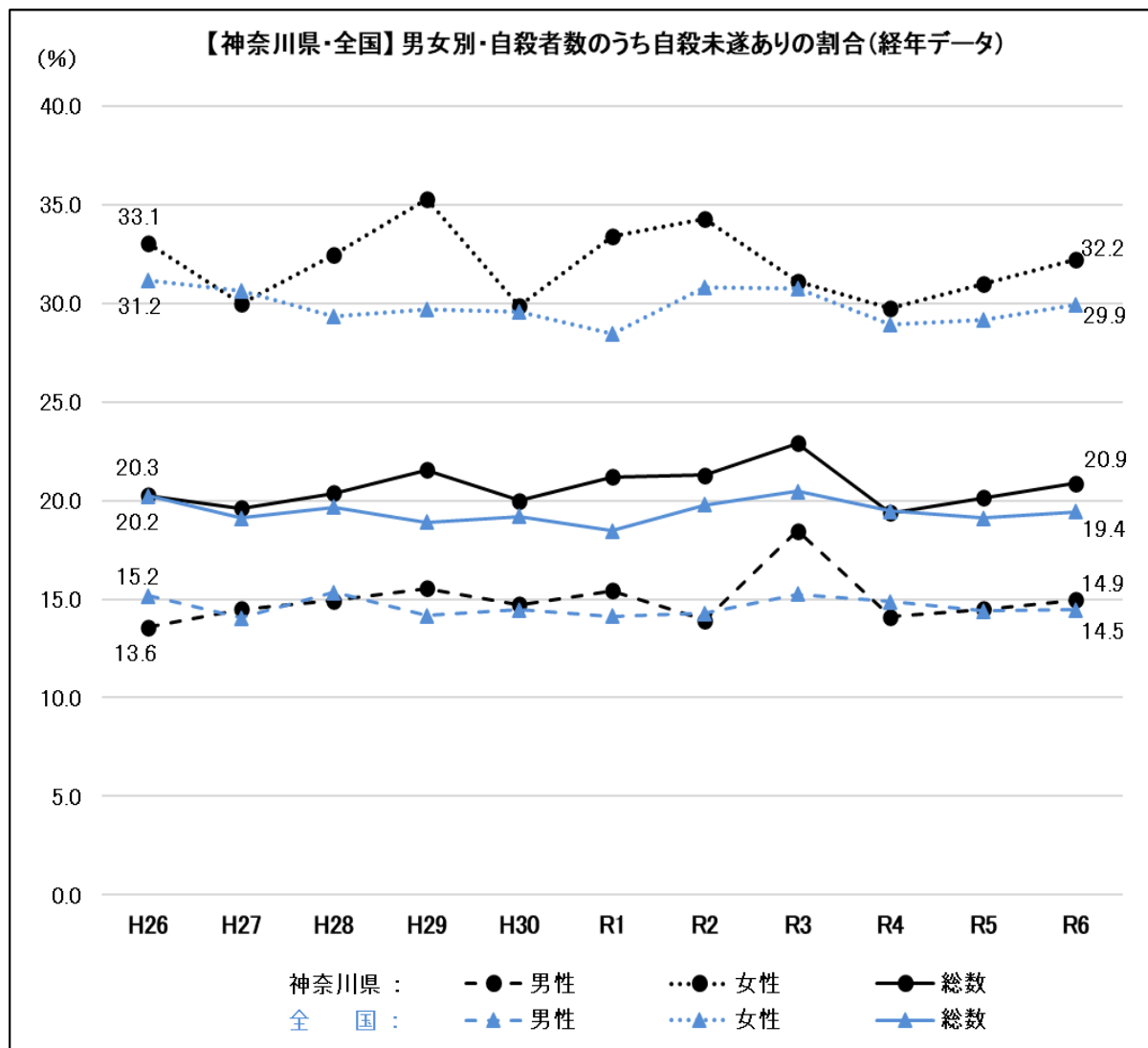


図2-19



総数(人)n:年[神奈川県/全国]

H26 [1,422/25,427]	H27 [1,382/24,025]	H28 [1,213/21,897]	H29 [1,276/21,321]	H30 [1,136/20,840]
R 1 [1,076/20,169]	R 2 [1,269/21,081]	R 3 [1,222/21,007]	R 4 [1,337/21,881]	R 5 [1,366/21,837]
R 6 [1,342/20,320]				

3 詳細データ

(1) 月別の状況

令和6年の月別の自殺者数の状況を見ると、本県は新年度となる「4月」に大きく増え一番多く、「12月」に大きく減るなど、全国に比べ月別の増減に差が出ている。

なお、「12月」は、全国、本県ともに自殺者が少なくなっている。

図3-1

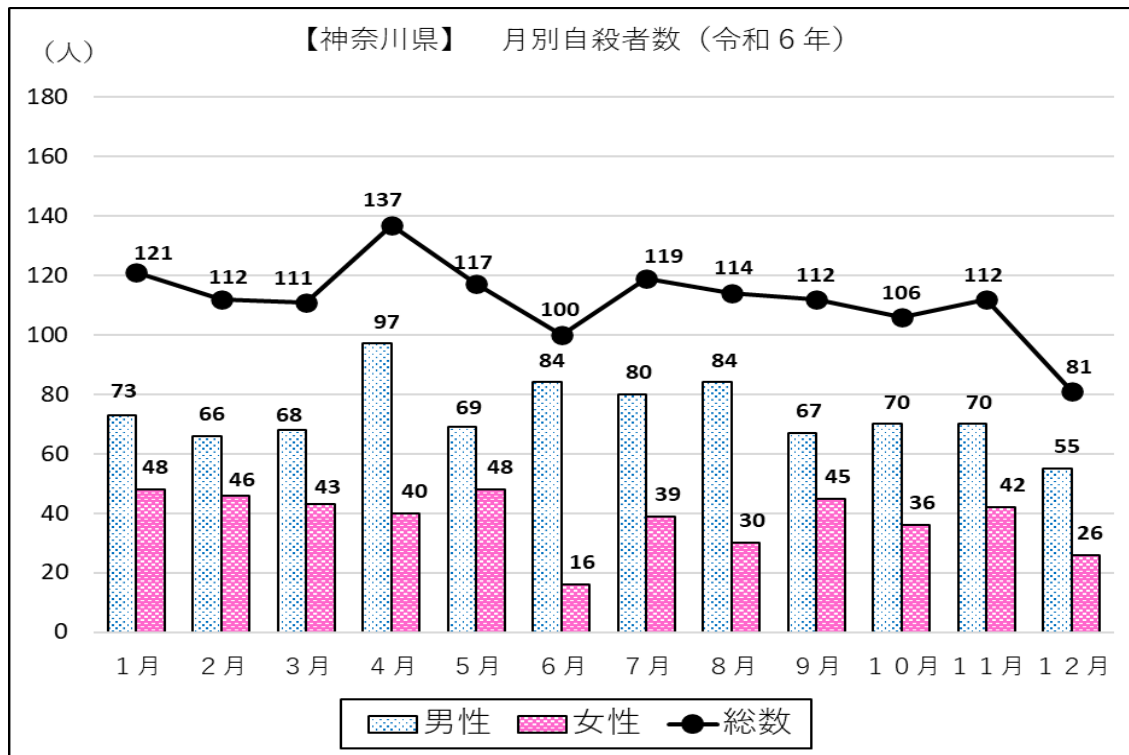
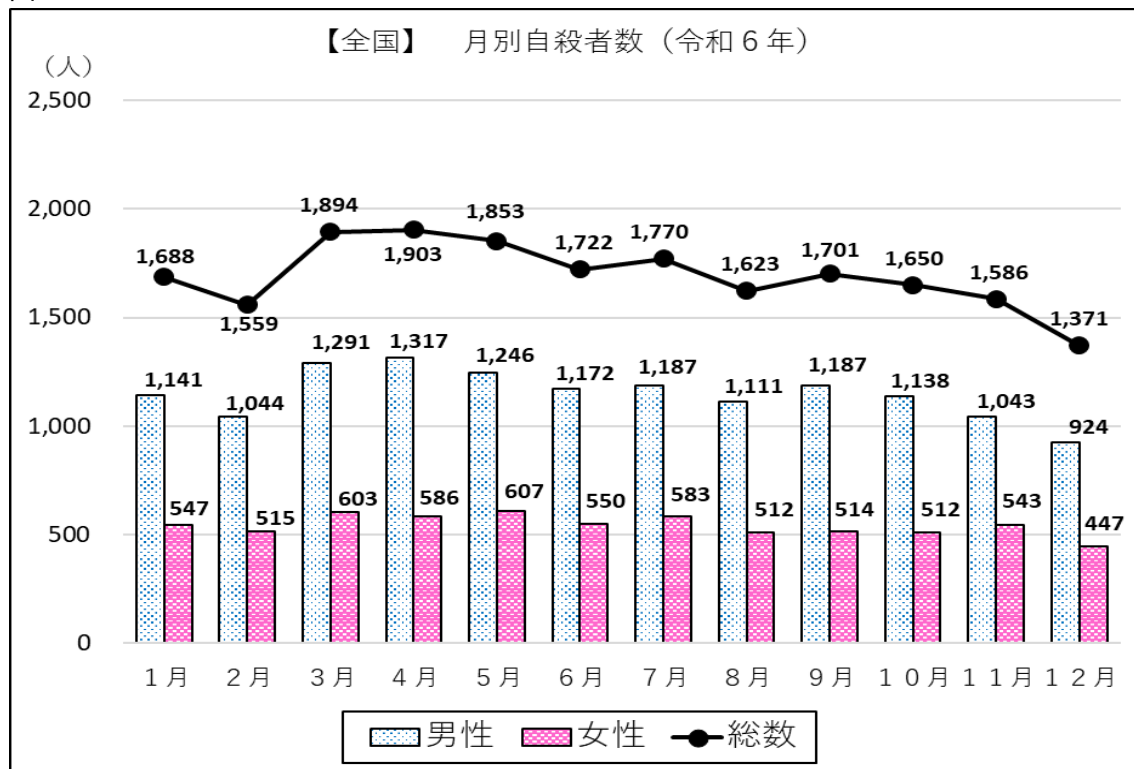
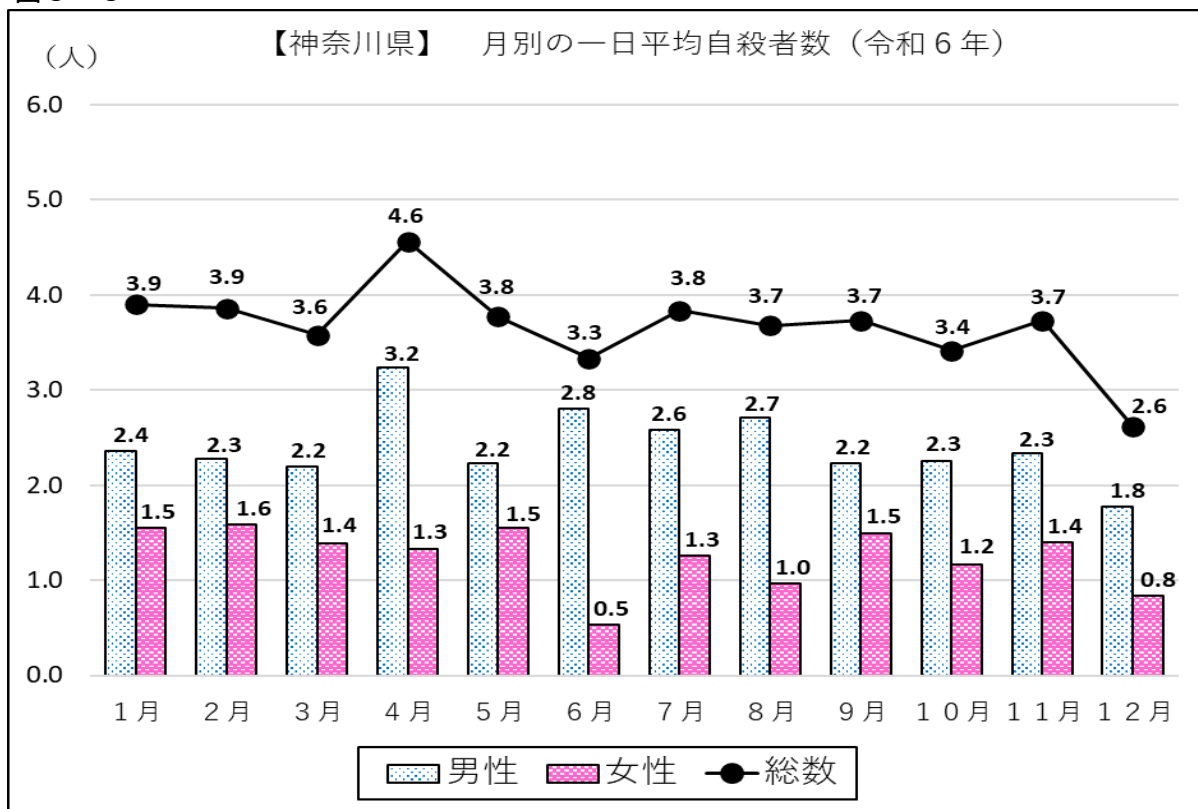


図3-2



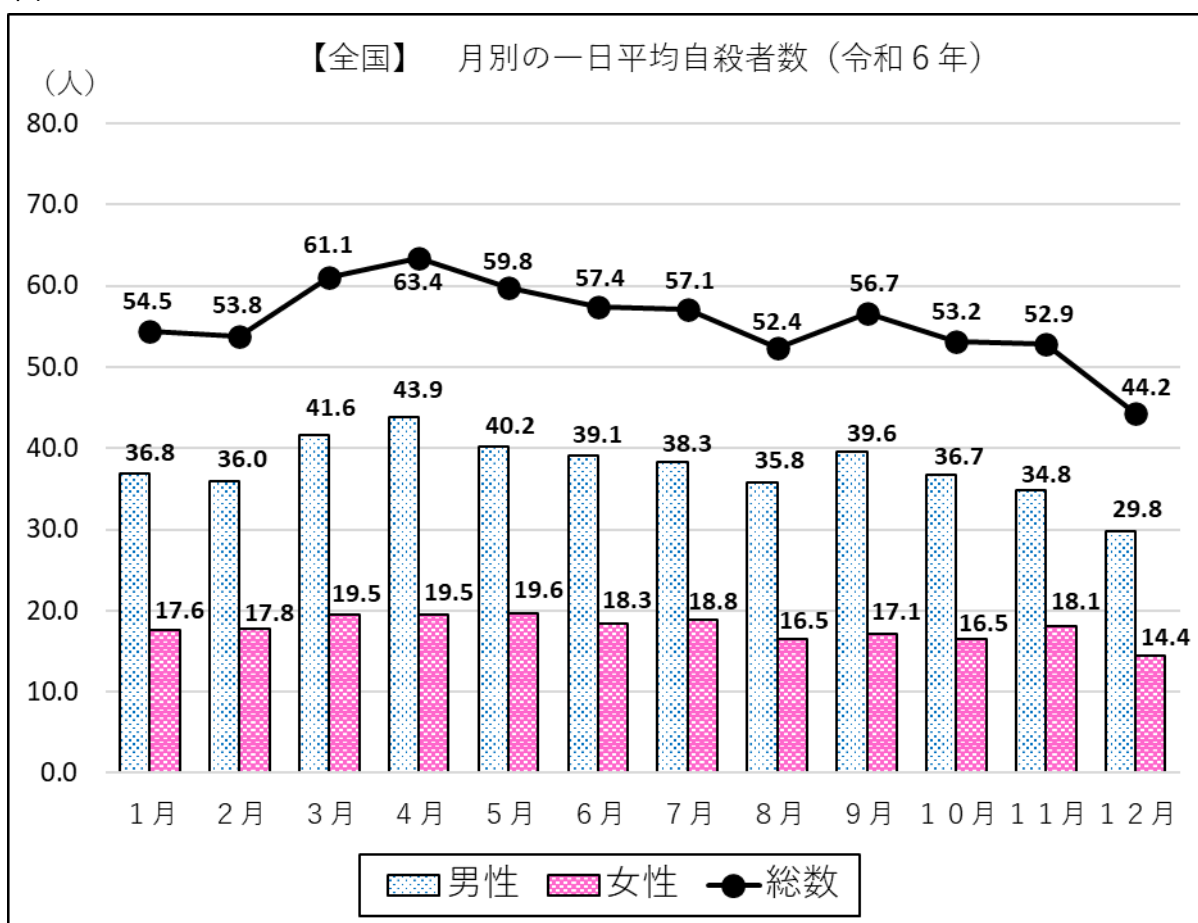
月別の一日平均自殺者数の状況を見ると、総数としては、全国、本県とも「4月」が最も多い。また、全国、本県ともに「12月」が最も少ない。

図3-3



※各平均自殺者数は小数点第二位を四捨五入しているため、総数と男女の合計が一致しない場合がある。

図3-4



(2) 男女別・年齢階級別・月別自殺者数の状況

本県の令和6年における月別自殺者数の推移をみると、男性は「4月」が、女性は「1月」と「5月」がそれぞれ多く、男性は「12月」が、女性は「6月」が少ない傾向にある。

特に、男性は70歳代、80歳以上が「4月」に、20歳代が「5月」にそれぞれ多く、50歳代については、月別の変化はあまりないが、「9月」は少ない。

女性については、各年代とも月別で増減があり、特に30歳代以下の年代では、1か月ごとに自殺者数に差がある。

図3-5

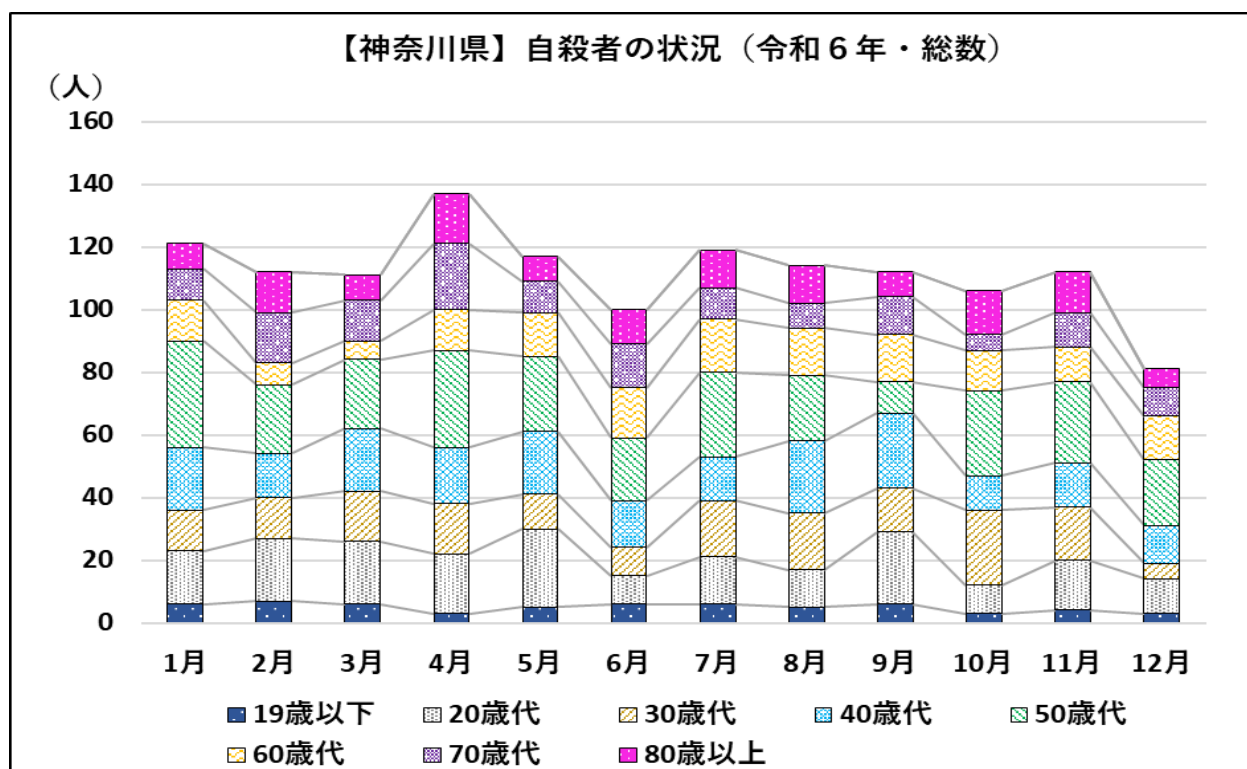


図3-6

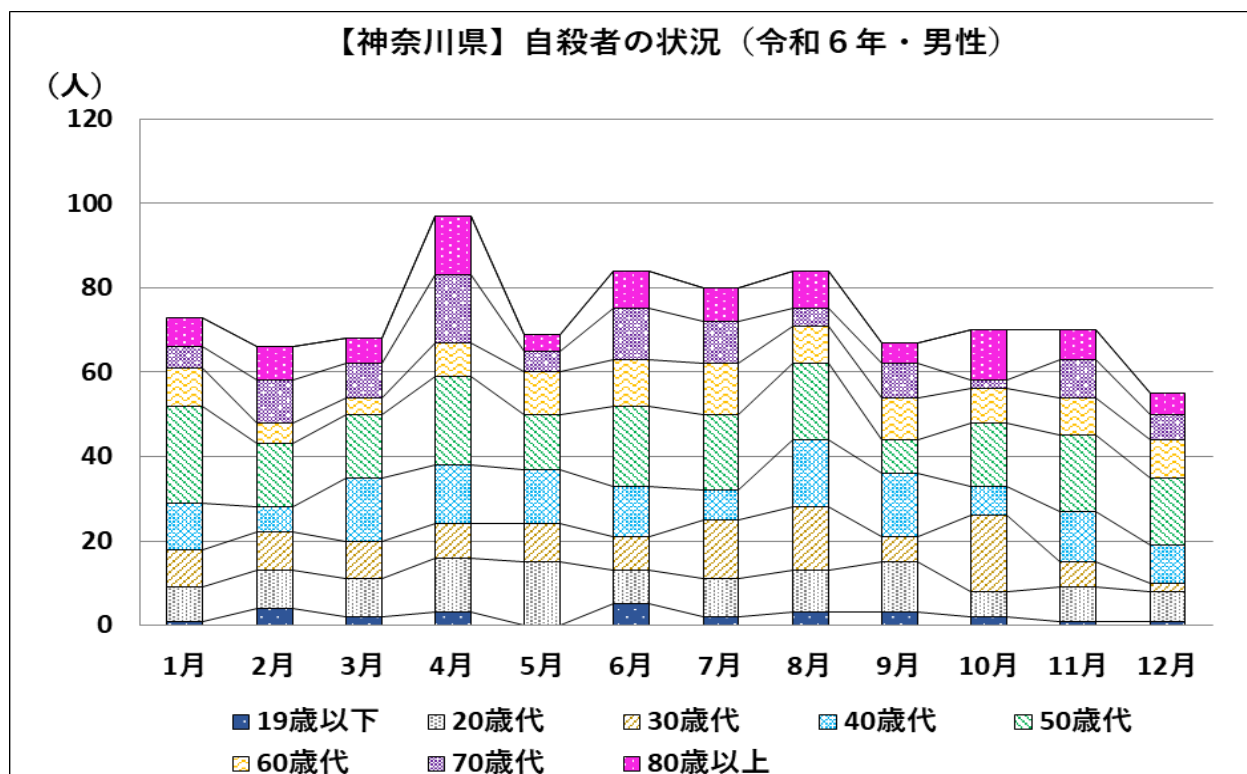
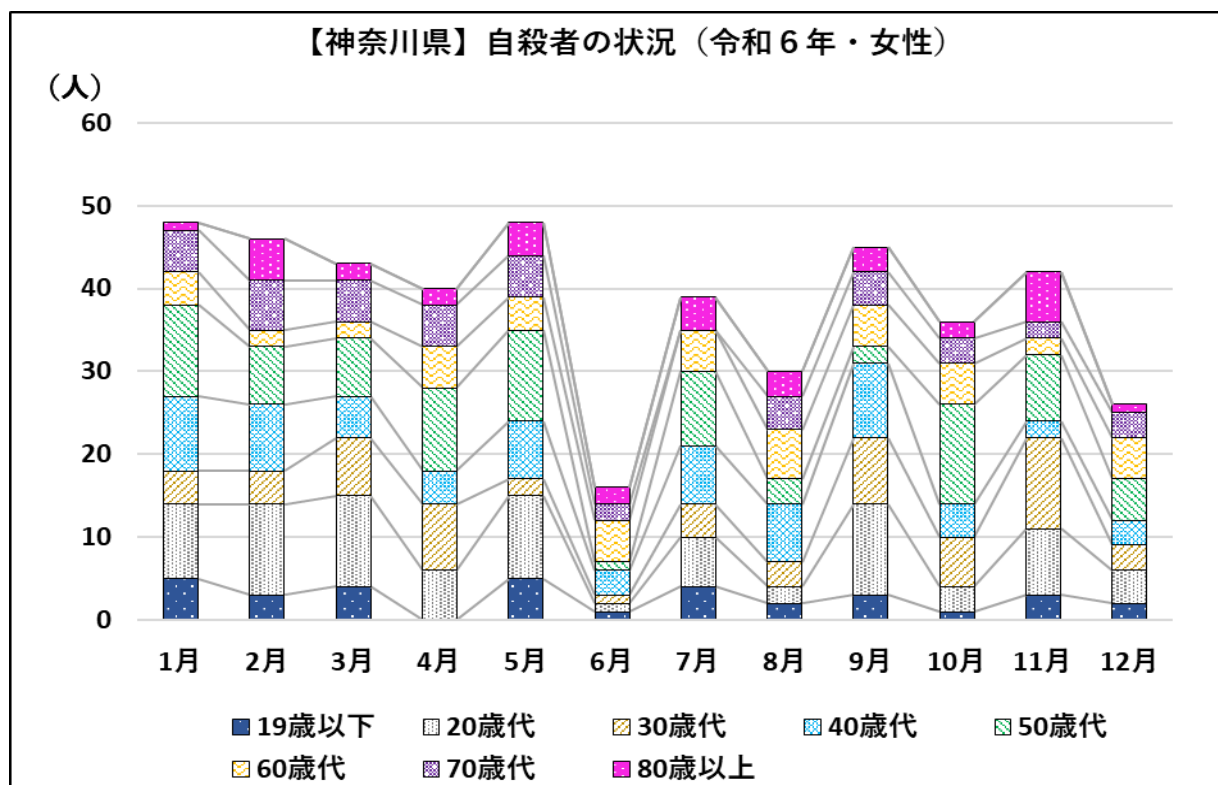


図3-7

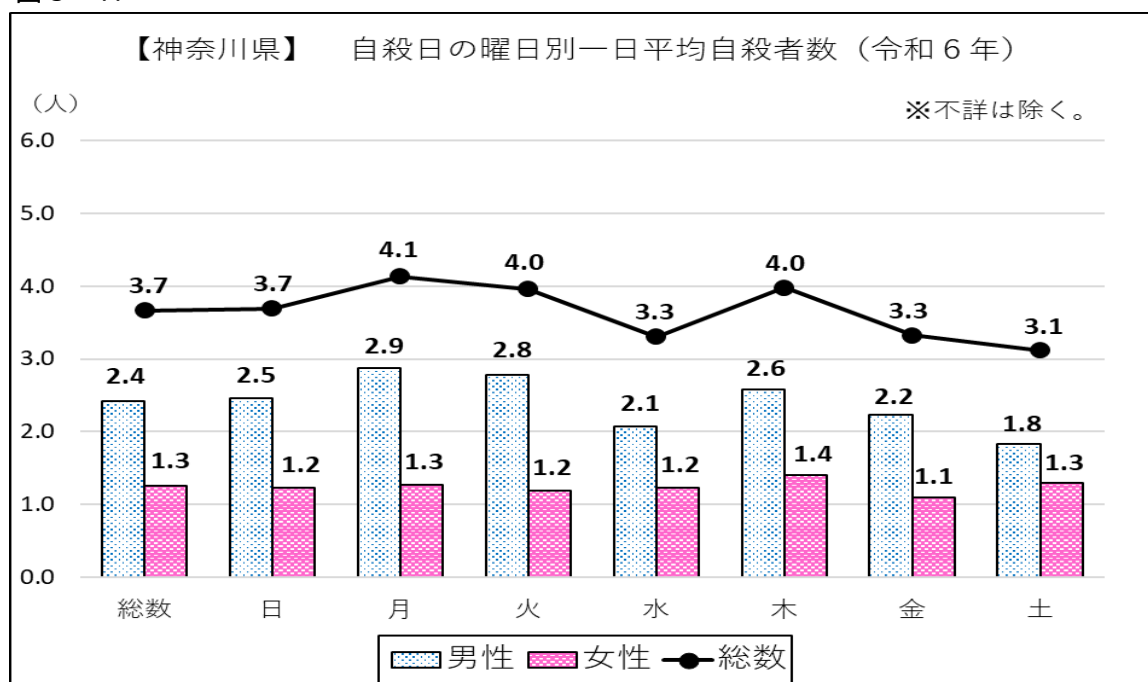


(3) 曜日別の状況

曜日別の一日平均自殺者数の状況を見ると、全国、本県とも、男性は「土曜日」が少なくなっているが、他の曜日については大きな増減はなく、女性についても曜日別での大きな増減はない。

土曜日については、全国、本県とも、少なくなっている。

図 3-11

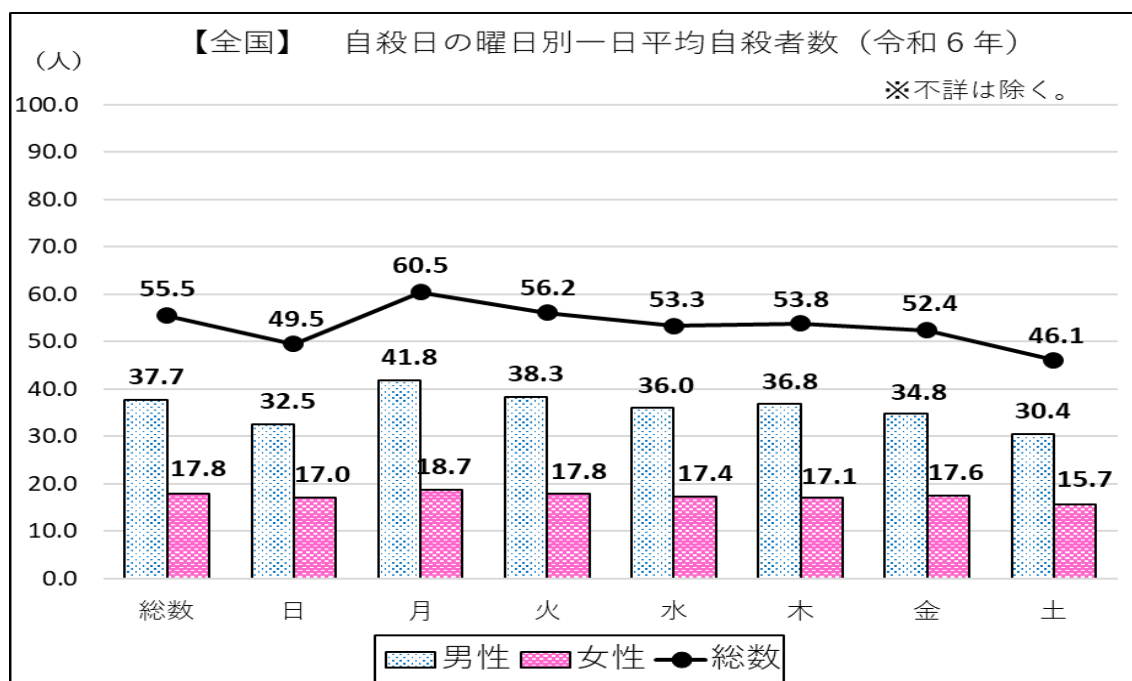


※ 「曜日別」については、比較する全国データが「自殺日」に基づいて集計しているため、神奈川県についても「発見日」ではなく、「自殺日」に基づいて集計した。

※ 各平均自殺者数は小数点第二位を四捨五入しているため、総数と各割合の合計が一致しない場合がある。

※ 「総数」は曜日不詳を含む自殺者数の一日平均自殺者数となっている。

図 3-12



※ 「曜日別」については、比較する全国データが「自殺日」に基づいて集計しているため、神奈川県についても「発見日」ではなく、「自殺日」に基づいて集計した。

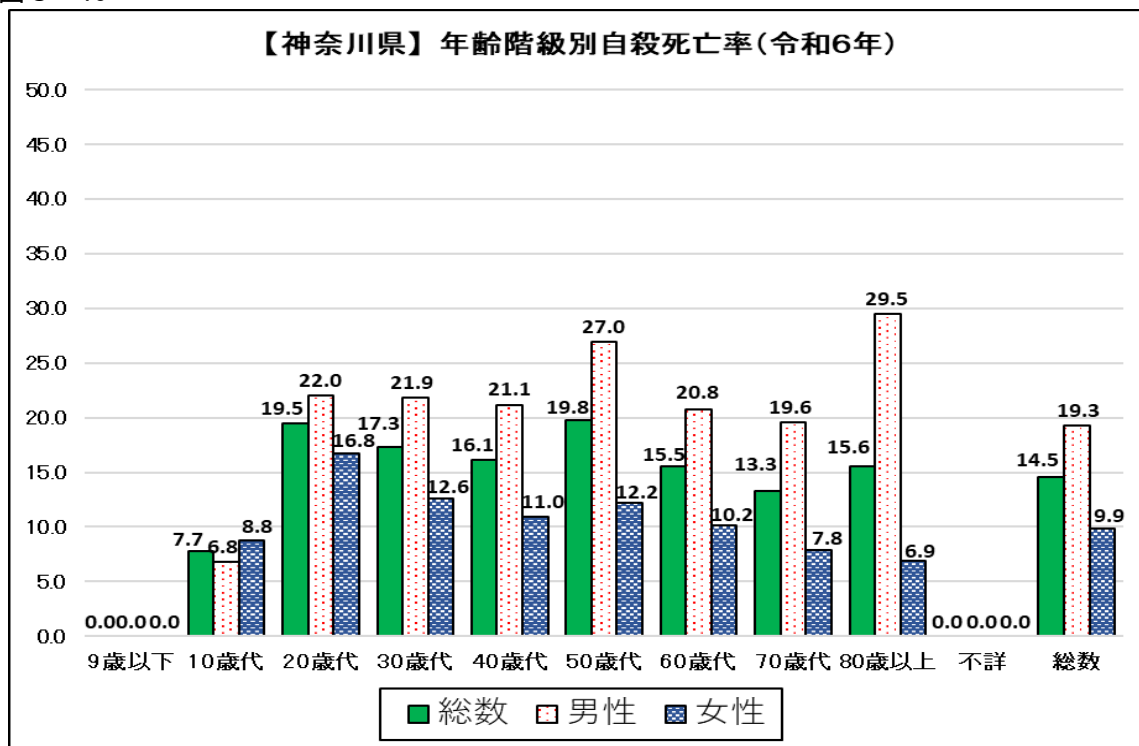
※ 各平均自殺者数は小数点第二位を四捨五入しているため、総数と各割合の合計が一致しない場合がある。

※ 「総数」は曜日不詳を含む自殺者数の一日平均自殺者数となっている。

(4) 年齢階級別自殺死亡率の状況

本県の令和6年における年齢階級別の自殺死亡率を見ると、男性は「80歳代」割合が最も高く、次いで「50歳代」、「20歳代」の順となっている。女性は「20歳代」、「30歳代」、「50歳代」の順となっている。

図3-13



※ 自殺死亡率は、人口 10 万人当たりの自殺者数を表す（自殺者数÷人口×100,000 人）。

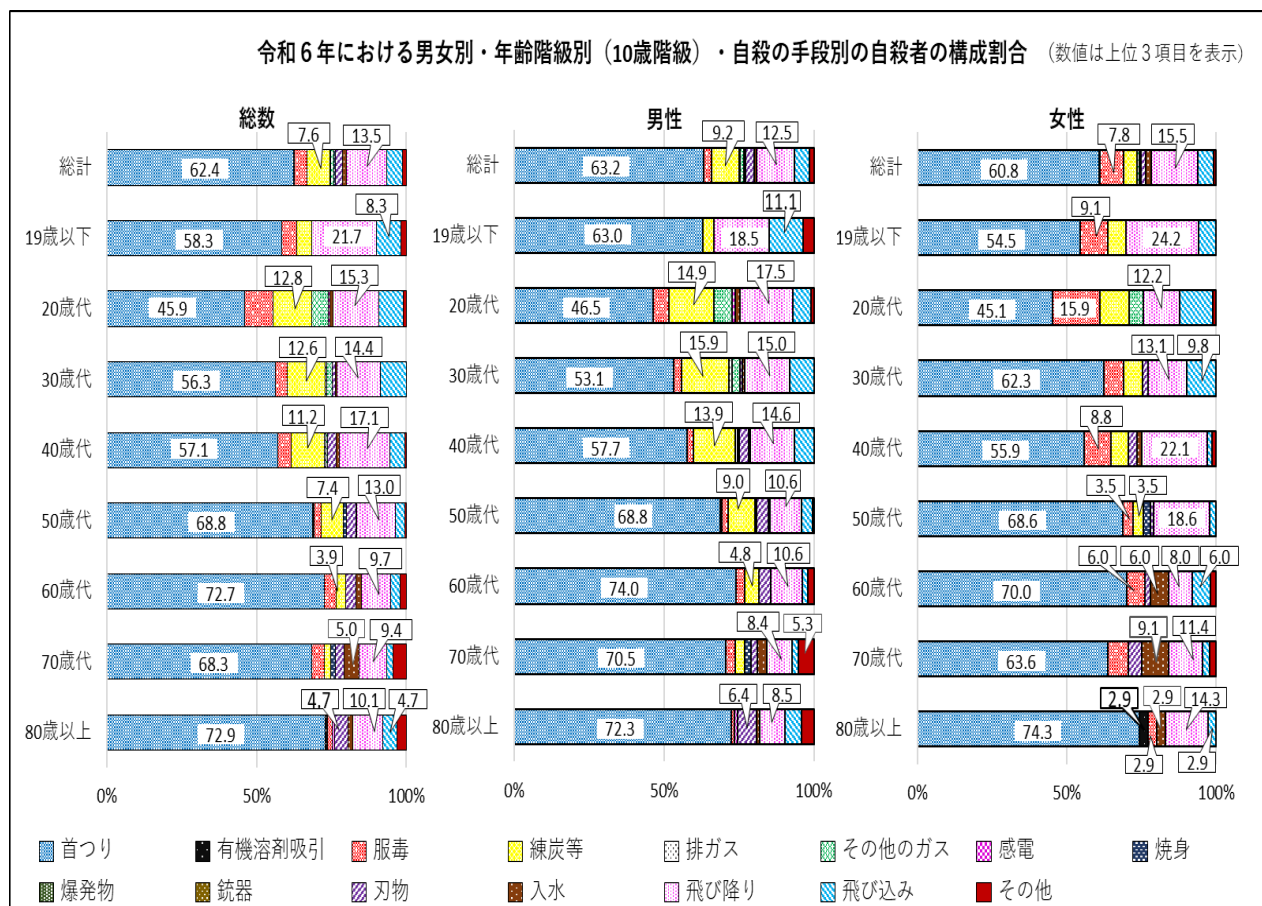
※ 各年齢階級別の人口は、神奈川県年齢別人口統計調査（該当年 1 月 1 日現在）に基づく。

(5) 男女別・年齢階級別・自殺の手段別の状況

本県の令和6年における男女別・年齢階級別・自殺の手段別の構成割合をみると、男女ともにすべての年齢階級において「首つり」が最も多く、次いで「飛び降り」、次に男性は「練炭等」、女性は「服毒」の順となっている。

令和5年は「19歳以下」で男女ともに「首つり」「飛び降り」の2つの手段で占めていたが、令和6年は手段が複数となっている。また、女性の20歳代以下で「服毒」の割合が増えている。

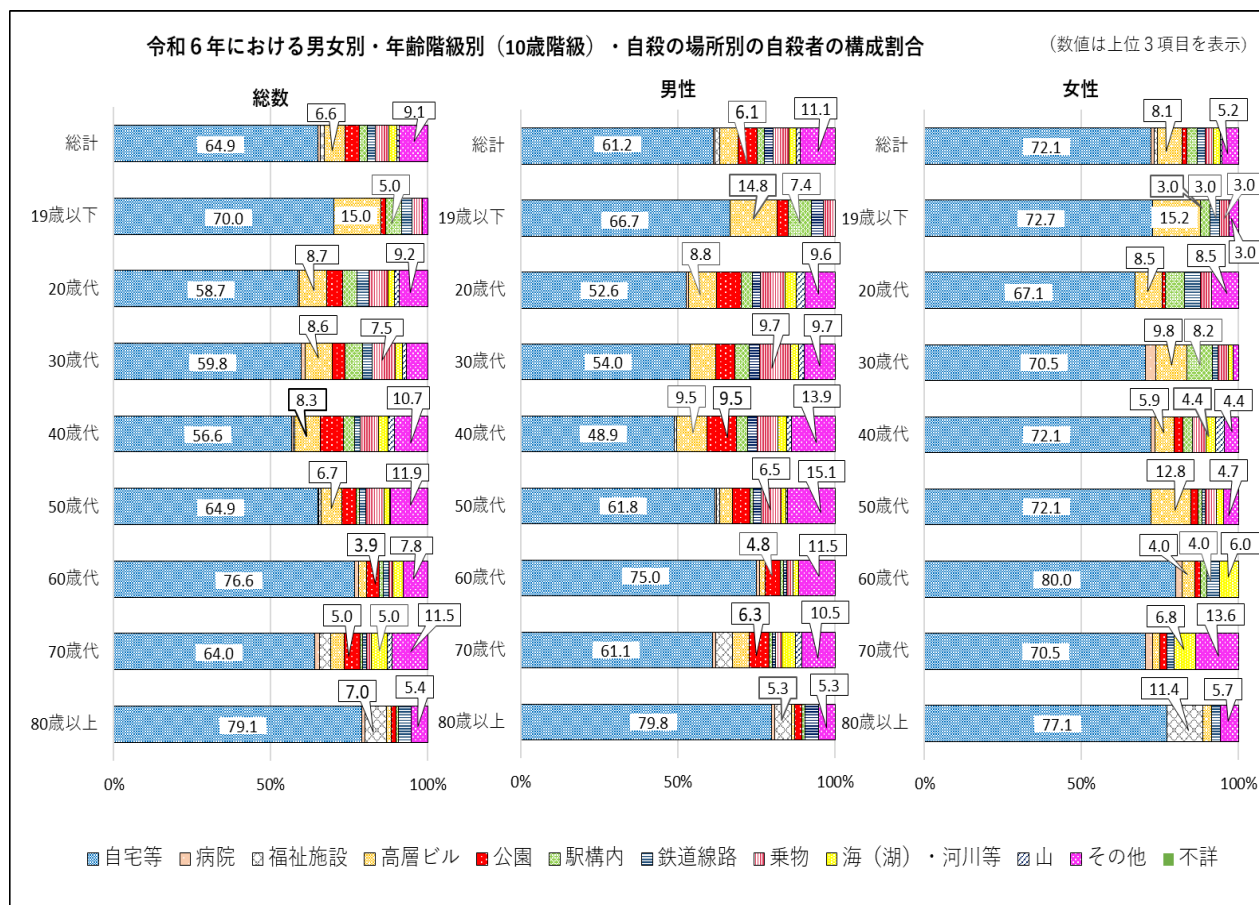
図3-14



(6) 男女別・年齢階級別・自殺の場所別の状況

本県の令和6年における男女別・年齢階級別・自殺の場所別の構成割合をみると、すべての年齢階級において「自宅」が最も多い。次いで「その他」と「高層ビル」が多く占めている。

図3-15



(7) 職業別・年齢階級別の状況

本県の職業別の自殺者数の状況を見ると、「無職者」が最も多い。また、「無職者」の内訳を見ると、「年金・雇用保険等生活者」が最も多く、次いで「その他の無職者」、「失業者」、「主婦」の順となっている。

さらに、職業別、年齢階級別の自殺者数の状況を見ると、「無職者」「有職者」とともに「50 歳代」が最も多くなっている。また、「学生・生徒等」全体では、令和5年より33人増えて95人、そのうち、小学生から高校生が令和5年から12人増え38人、20歳代の「学生・生徒等」が19人増え46人と子ども・若者の自殺者が増えている。

なお、男女別の年齢階級別、職業別自殺者数の状況を見ると、男性では「50歳代の有職者」が最も多く、次いで「80歳代の年金・雇用保険等生活者」、「40歳代、30歳代の有職者」となっており、女性では「20歳代の有職者」が最も多く、次いで「80歳代、70歳代」の「年金・雇用保険等生活者」の順となっている。

表3-1

【神奈川県】年齢階級別、職業別自殺者数(令和6年)

年齢階級別 職業別		～ 19歳	20～ 29歳	30～ 39歳	40～ 49歳	50～ 59歳	60～ 69歳	70～ 79歳	80歳 ～	不詳	合計
合計	計	60	196	174	205	285	154	139	129	0	1,342
	男	27	114	113	137	199	104	95	94	0	883
	女	33	82	61	68	86	50	44	35	0	459
有職者	計	8	86	105	93	146	45	19	5	0	507
	男	5	49	77	76	120	40	18	5	0	390
	女	3	37	28	17	26	5	1	0	0	117
学生・生徒等	計	49	46	0	0	0	0	0	0	0	95
	男	21	30	0	0	0	0	0	0	0	51
	女	28	16	0	0	0	0	0	0	0	44
小学生	計	※	0	0	0	0	0	0	0	0	※
	男	※	0	0	0	0	0	0	0	0	※
	女	※	0	0	0	0	0	0	0	0	※
中学生	計	※	0	0	0	0	0	0	0	0	※
	男	※	0	0	0	0	0	0	0	0	※
	女	※	0	0	0	0	0	0	0	0	※
高校生	計	26	0	0	0	0	0	0	0	0	26
	男	12	0	0	0	0	0	0	0	0	12
	女	14	0	0	0	0	0	0	0	0	14
その他	計	11	46	0	0	0	0	0	0	0	57
	男	7	30	0	0	0	0	0	0	0	37
	女	4	16	0	0	0	0	0	0	0	20
無職者	計	3	62	68	106	136	108	120	124	0	727
	男	1	33	35	56	76	64	77	89	0	431
	女	2	29	33	50	60	44	43	35	0	296
主婦	計	0	1	9	27	22	21	9	1	0	90
	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	1	9	27	22	21	9	1	0	90
失業者	計	0	11	19	16	31	11	4	0	0	92
	男	0	10	11	14	27	11	4	0	0	77
	女	0	1	8	2	4	0	0	0	0	15
年金・雇用 保険 等生活者	計	0	12	13	22	41	53	89	114	0	344
	男	0	3	6	14	17	36	59	82	0	217
	女	0	9	7	8	24	17	30	32	0	127
その他	計	3	38	27	41	42	23	18	9	0	201
	男	1	20	18	28	32	17	14	7	0	137
	女	2	18	9	13	10	6	4	2	0	64
不詳	計	0	2	1	6	3	1	0	0	0	13
	男	0	2	1	5	3	0	0	0	0	11
	女	0	0	0	1	0	1	0	0	0	2

注) 学生・生徒等の「その他」は、「大学生」、「専修学校生」及び「予備校生」を足し合わせたもの。

注) 無職者の「その他」は、「主夫」「利子・配当・家賃等生活者」、「ホームレス」及び「その他の無職者」等を足し合わせたもの。

注) 小・中・高生の数値が2人以下の場合、該当部分の数値を非公表とする。なお、3人以上の欄があっても、数値を表示することで他の非公表の数値が明らかになる場合、非公表とする。

全国の職業別の自殺者数の状況についても「無職者」が最も多い。また、「無職者」の内訳を見ると、「年金・雇用保険等生活者」が最も多く、次いで「その他の無職者」、「失業者」、「主婦」、の順となっている。

なお、全国の男女別の年齢階級別、職業別自殺者数の状況を見ると、男性では「50歳代の有職者」が最も多く、次いで「40歳代の有職者」、「80歳以上の年金・雇用保険等生活者」となっている。女性では「80歳以上の年金・雇用保険等生活者」、「70歳代の年金・雇用保険等生活者」、「20歳代の有職者」の順となっている。

表3-2

【全国】年齢階級別、職業別自殺者数(令和6年)

年齢階級別 職業別		～ 19歳	20～ 29歳	30～ 39歳	40～ 49歳	50～ 59歳	60～ 69歳	70～ 79歳	80歳 ～	不詳	合計
合計	計	800	2,465	2,399	3,214	3,799	2,584	2,685	2,346	28	20,320
	男	370	1,546	1,717	2,366	2,684	1,812	1,799	1,483	24	13,801
	女	430	919	682	848	1,115	772	886	863	4	6,519
有職者	計	75	1,263	1,481	1,871	1,951	942	416	93	0	8,092
	男	39	814	1,157	1,517	1,578	787	357	82	0	6,331
	女	36	449	324	354	373	155	59	11	0	1,761
無職	学生・生徒等	計	649	418	9	0	1	0	0	0	1,077
		男	296	286	8	0	1	0	0	0	591
		女	353	132	1	0	0	0	0	0	486
	小学生	計	15	0	0	0	0	0	0	0	15
		男	9	0	0	0	0	0	0	0	9
		女	6	0	0	0	0	0	0	0	6
	中学生	計	163	0	0	0	0	0	0	0	163
		男	64	0	0	0	0	0	0	0	64
		女	99	0	0	0	0	0	0	0	99
	高校生	計	345	6	0	0	0	0	0	0	351
		男	162	4	0	0	0	0	0	0	166
		女	183	2	0	0	0	0	0	0	185
	その他	計	126	412	9	0	1	0	0	0	548
		男	61	282	8	0	1	0	0	0	352
		女	65	130	1	0	0	0	0	0	196
	無職者	計	73	737	861	1,261	1,780	1,594	2,251	2,242	10,800
		男	34	419	515	780	1,054	982	1,428	1,391	6,604
		女	39	318	346	481	726	612	823	851	4,196
	主婦	計	0	28	68	148	272	182	108	49	855
		男	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		女	0	28	68	148	272	182	108	49	855
	失業者	計	2	151	177	242	352	148	38	4	1,114
		男	2	111	128	193	295	128	35	4	896
		女	0	40	49	49	57	20	3	0	218
	年金・雇用 保険 等生活者	計	4	94	158	270	363	779	1,839	1,985	5,492
		男	0	36	90	174	217	497	1,213	1,247	3,474
		女	4	58	68	96	146	282	626	738	2,018
	その他	計	67	464	458	601	793	485	266	204	3,339
		男	32	272	297	413	542	357	180	140	2,234
		女	35	192	161	188	251	128	86	64	1,105
不詳	計	3	47	48	82	67	48	18	11	27	351
	男	1	27	37	69	51	43	14	10	23	275
	女	2	20	11	13	16	5	4	1	4	76

注) 学生・生徒等の「その他」は、「大学生」、「専修学校生」及び「予備校生」を足し合わせたもの。

注) 無職者の「その他」は、「主夫」「利子・配当・家賃等生活者」、「ホームレス」及び「その他の無職者」等を足し合わせたもの。

(8) 年齢階級別、原因・動機別の状況

原因・動機別の自殺者数の状況を見ると、「健康問題」が最も多く、次いで「経済・生活問題」、「家庭問題」、「勤務問題」、「その他」、「交際問題」、「学校問題」の順となっている。

表 3-3

【神奈川県】 年齢階級別、原因・動機別自殺者数(令和6年)

年齢階級別 原因・動機別		～ 19歳	20～ 29歳	30～ 39歳	40～ 49歳	50～ 59歳	60～ 69歳	70～ 79歳	80歳 ～	不詳	合計
合計	計	81	275	257	311	419	234	200	172	0	1,949
	男	38	150	172	203	295	164	139	123	0	1,284
	女	43	125	85	108	124	70	61	49	0	665
	家庭問題	計	7	28	42	75	34	29	29	0	313
		男	7	13	29	45	20	15	20	0	193
		女	0	15	13	31	14	14	9	0	120
	健康問題	計	21	98	90	124	130	124	121	0	876
		男	5	39	47	58	82	81	88	0	495
		女	16	59	43	66	48	43	33	0	381
	経済・生活問題	計	4	30	62	57	112	40	34	14	353
		男	3	28	55	47	105	38	31	12	319
		女	1	2	7	10	7	2	3	2	34
	勤務問題	計	3	33	34	44	47	10	4	0	175
		男	3	19	21	40	38	9	4	0	134
		女	0	14	13	4	9	1	0	0	41
	交際問題	計	7	32	12	3	5	4	0	0	63
		男	5	17	8	1	4	4	0	0	39
		女	2	15	4	2	1	0	0	0	24
	学校問題	計	29	31	0	0	0	0	0	0	60
		男	10	20	0	0	0	0	0	0	30
		女	19	11	0	0	0	0	0	0	30
	その他	計	10	23	17	14	12	16	9	8	109
		男	5	14	12	12	9	11	8	3	74
		女	5	9	5	2	3	5	1	5	35

※「原因・動機」は、家族等の証言から考えうる場合も含め、自殺者一人につき4つまで計上可能としているため、原因・動機特定者の原因・動機別の和と自殺者実数とは一致しない。

全国の状況も、多い順から「健康問題」、「経済・生活問題」、「家庭問題」、「勤務問題」、「その他」、「交際問題」、「学校問題」となっており、神奈川県は全国と総じて同じような傾向である。

表 3 - 4

【全国】 年齢階級別、原因・動機別自殺者数(令和6年)

年齢階級別 原因・動機別		年齢階級別										
		～ 19歳	20～ 29歳	30～ 39歳	40～ 49歳	50～ 59歳	60～ 69歳	70～ 79歳	80歳 ～	不詳	合計	
原因・動機別	合計	計	1,014	3,204	3,269	4,492	5,313	3,471	3,403	2,960	0	27,126
		男	470	1,979	2,339	3,292	3,784	2,422	2,259	1,840	0	18,385
		女	544	1,225	930	1,200	1,529	1,049	1,144	1,120	0	8,741
	家庭問題	計	148	327	567	806	873	534	493	549	0	4,297
		男	75	172	381	545	533	334	282	321	0	2,643
		女	73	155	186	261	340	200	211	228	0	1,654
	健康問題	計	286	1,047	1,115	1,604	2,049	1,724	2,153	2,051	0	12,029
		男	94	482	652	945	1,188	1,040	1,375	1,287	0	7,063
		女	192	565	463	659	861	684	778	764	0	4,966
	経済・生活問題	計	31	552	705	1,030	1,349	819	463	143	0	5,092
		男	19	464	636	932	1,194	728	383	103	0	4,459
		女	12	88	69	98	155	91	80	40	0	633
	勤務問題	計	34	433	488	672	680	187	60	10	0	2,564
		男	26	312	399	581	601	163	55	9	0	2,146
		女	8	121	89	91	79	24	5	1	0	418
	交際問題	計	85	358	192	117	83	19	8	6	0	868
		男	45	196	117	86	55	17	5	5	0	526
		女	40	162	75	31	28	2	3	1	0	342
	学校問題	計	346	221	2	2	0	0	1	0	0	572
		男	169	177	1	2	0	0	1	0	0	350
		女	177	44	1	0	0	0	0	0	0	222
	その他	計	84	266	200	261	279	188	225	201	0	1,704
		男	42	176	153	201	213	140	158	115	0	1,198
		女	42	90	47	60	66	48	67	86	0	506

※「原因・動機」は、家族等の証言から考えうる場合も含め、自殺者一人につき4つまで計上可能としているため、原因・動機特定者の原因・動機別の和と自殺者実数とは一致しない。

(9) 職業別、原因・動機別の状況

職業別に最も多い原因・動機別の状況を見ると、「有職者」は「健康問題」、「学生・生徒等」は「学校問題」、「無職者」は「健康問題」となっている。

さらに男女別で見ると、「有職者」では男性は「経済・生活問題」、女性は「健康問題」が最も多い。加えて「学生・生徒等」では男女ともに「学校問題」、「無職者」では男女ともに「健康問題」が最も多くなっている。

表 3－5

【神奈川県】 職業別、原因・動機別自殺者数(令和6年)

職業別 原因・動機別		有職者	無職						不詳	合計
			学生・生徒等	無職者	主婦	失業者	年金・雇用保険等生活者	その他		
合計	計	776	134	1,026	123	151	482	270	13	1,949
	男	589	72	613	0	127	305	181	10	1,284
	女	187	62	413	123	24	177	89	3	665
家庭問題	計	134	14	164	39	9	76	40	1	313
	男	100	11	81	0	6	45	30	1	193
	女	34	3	83	39	3	31	10	0	120
健康問題	計	227	33	613	75	50	337	151	3	876
	男	146	11	335	0	37	206	92	3	495
	女	81	22	278	75	13	131	59	0	381
経済・生活問題	計	179	7	160	5	70	40	45	7	353
	男	172	7	135	0	62	35	38	5	319
	女	7	0	25	5	8	5	7	2	34
勤務問題	計	155	1	18	1	14	0	3	1	175
	男	118	1	15	0	14	0	1	0	134
	女	37	0	3	1	0	0	2	1	41
交際問題	計	39	10	14	0	3	6	5	0	63
	男	25	6	8	0	3	2	3	0	39
	女	14	4	6	0	0	4	2	0	24
学校問題	計	0	58	2	0	0	0	2	0	60
	男	0	30	0	0	0	0	0	0	30
	女	0	28	2	0	0	0	2	0	30
その他	計	42	11	55	3	5	23	24	1	109
	男	28	6	39	0	5	17	17	1	74
	女	14	5	16	3	0	6	7	0	35

※「原因・動機」は、家族等の証言から考えうる場合も含め、自殺者一人につき4つまで計上可能としているため、原因・動機特定者の原因・動機別の和と自殺者実数とは一致しない。

※ 無職者のうち、「その他」は、「主夫」、「利子・配当・家賃等生活者」、「ホームレス」及び「その他の無職者」を足し合わせたもの。

全国の状況は本県と同様である。

表 3－6

【全国】 職業別、原因・動機別自殺者数(令和6年)

職業別 原因・動機別		有職者	無職						不詳	合計
			学生・生徒等							
				無職者	主婦	失業者	年金・雇用保険等生活者	その他		
合計	計	11,231	1,341	14,290	1,154	1,763	7,149	4,224	264	27,126
	男	8,776	720	8,687	0	1,415	4,454	2,818	202	18,385
	女	2,455	621	5,603	1,154	348	2,695	1,406	62	8,741
家庭問題	計	1,840	154	2,277	297	180	1,082	718	26	4,297
	男	1,332	75	1,222	0	139	623	460	14	2,643
	女	508	79	1,055	297	41	459	258	12	1,654
健康問題	計	3,274	337	8,349	743	566	4,885	2,155	69	12,029
	男	2,231	129	4,660	0	397	2,976	1,287	43	7,063
	女	1,043	208	3,689	743	169	1,909	868	26	4,966
経済・生活問題	計	2,631	66	2,264	62	703	635	864	131	5,092
	男	2,423	55	1,860	0	623	501	736	121	4,459
	女	208	11	404	62	80	134	128	10	633
勤務問題	計	2,284	16	257	5	153	31	68	7	2,564
	男	1,923	9	208	0	131	26	51	6	2,146
	女	361	7	49	5	22	5	17	1	418
交際問題	計	544	118	195	6	50	56	83	11	868
	男	352	66	105	0	35	26	44	3	526
	女	192	52	90	6	15	30	39	8	342
学校問題	計	8	534	29	0	2	1	26	1	572
	男	4	324	22	0	2	1	19	0	350
	女	4	210	7	0	0	0	7	1	222
その他	計	650	116	919	41	109	459	310	19	1,704
	男	511	62	610	0	88	301	221	15	1,198
	女	139	54	309	41	21	158	89	4	506

※「原因・動機」は、家族等の証言から考えうる場合も含め、自殺者一人につき4つまで計上可能としているため、原因・動機特定者の原因・動機別の和と自殺者実数とは一致しない。

※ 無職者のうち、「その他」は、「主夫」、「利子・配当・家賃等生活者」、「ホームレス」及び「その他の無職者」を足し合わせたもの。

自殺の多くは多様かつ複合的な原因や背景を有しており、様々な要因が連鎖する中で起きている。原因・動機別の自殺者数の状況については、最大4つまで計上されたものが公表されており、令和6年の原因・動機が特定できた延べ件数 1,949 件の内訳を分析したところ、「健康問題」が 44.9%を占め、次いで「経済・生活問題」が 18.1%、「家庭問題」が 16.1%、「学校問題」が 3.1%、「経済・生活問題」が 18.1%、「家庭問題」が 16.1%であった。

(10) 原因・動機別内訳

図 3-16 【神奈川県】原因・動機別自殺者数（令和6年）



※不詳は除く。
 ※原因・動機は令和6年は4つ以内の複数計上が可能となっている。
 ※令和6年の自殺者数(1,342人)と原因・動機別の総和(1,949人)とは一致しない。
 ※各グラフの構成割合の母数は、自殺者実数ではなく複数回答の和(n)としている。

「健康問題」の詳細を見ると、「うつ病」が38.4%、「病気の悩み(その他の身体疾患)」が 21.0%であった。また、「経済・生活問題」の詳細では、「生活苦」が 36.3%、「負債(その他)」が 15.0%、「家庭問題」の詳細では、「夫婦関係の不和(その他の原因)」が 17.3%、「家族の死亡」が 14.7%であった。

「健康問題」の中で最も高い割合を占める「うつ病」は、様々な問題がきっかけで生じるストレスを抱えた末に発症に至るとされることがから、未然防止につながる観点で取組の検討が必要である。

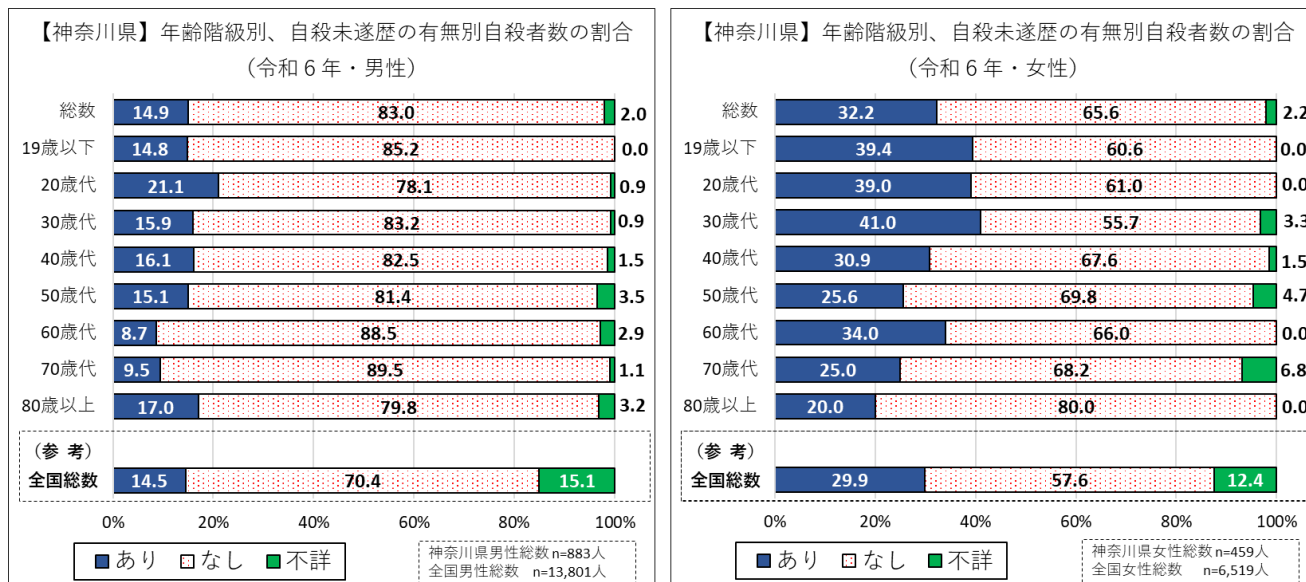
また、「経済・生活問題」の中で最も高い割合を占める「生活苦」は、社会情勢や景気動向の影響を大きく受けることから、生活困窮者対策と自殺対策との連携による取組も重要である。

(11) 年齢階級別、自殺未遂歴の状況

自殺未遂歴の年齢階級別の状況を見ると、男女別の割合では、すべての年齢階級で自殺未遂歴「有」は女性の方が多い。また、令和5年の「女性」「20歳代」「30歳代」では、「自殺未遂歴有」が約5割となっていたが、令和6年はその年代では減少し、「19歳以下」「60歳代以上」で多くなっている。

男性は「20歳代」「80歳以上」の自殺未遂歴の割合が増えている。

図3-17



※ 各割合は小数点第二位を四捨五入しているため、総数と各割合の合計が一致しない場合がある。

(12) 同居人の状況

同居人の状況を年齢階級別で見ると、男女ともにほぼ全ての年齢階級において、同居人「あり」が多い。

図3-18

